



# TORROT

## トルットキッズユーザーズマニュアル

- トライアル 1 (TT-T1022-E)
- モトクロス 1 (TT-E1022-E)
- スーパーモタード 1 (TT-S1022-E)
- トライアル 2 (TT-T1222-E)
- モトクロス 2 (TT-E1222-E)
- スーパーモタード 2 (TT-S1222-E)





2021 TORROT ELECTRIC EUROPA, S.A.

C/ Unicef 17, Polígono Industrial Torremiróna 17190 – Salt (Girona) – Spain

#### 無断転用禁止

全体的または部分的において、著者の知的財産権によって、いかなる理由があっても無断で転用することは禁じられています。トロット・エレクトリック・ヨーロッパ S.A. は、商品の技術的な内容やパフォーマンスについて、事前の予告なく変更する権利を保持しています。

このマニュアル内で使用されている画像は上位モデルの場合もあり、標準モデルに搭載されていない装備も含まれています。

画像は、初期モデルと一致しない場合があります。

# はじめに

## 法規事項

車両をご使用される前に、今後必要になる場合に備えてこのマニュアルをよくお読みになってください。お問い合わせやご質問がある場合は、お近くのモータリスト e-ディーラー：<http://motorists.jp> にお問い合わせください。メールでもお問い合わせいただけます：[info@motorists.jp](mailto:info@motorists.jp) その際は、シリアルナンバーと、お客様のご連絡先をお書き添えの上お問い合わせください。

このマニュアルには、車両を安全に操作またはメンテナンスを行っていただくための、大切な事項が記載されています。また、このマニュアルは車両を実際にご使用いただくお客様のためのマニュアルです。より専門的な知識が必要な場合は、「車両作業マニュアル」をご参照ください。

## ご購入いただきまして誠にありがとうございます

この度は、トロット・キッズをお選びいただきまして、誠にありがとうございます。歴史ある弊社のブランドにトロット・ファミリーとして仲間入りしていただきましたので、本マニュアルを含めまして、今後、未永く車両を安全で快適にご使用いただくために最良のアフターサービスを提供させていただきます。

トロット・キッズは、お子様が楽しめるようにデザインされた電動バイクです。

このマニュアルには、お子様が車両を正しく使用するために必要な事項や、メンテナンスに必要な項目が記載されています。また、新車購入後の2年間の保証についてもご案内しております。

この車両をお選びいただいて良かったと思っていただけるためにも、点検・メンテナンスは必ず正しく行っていただき、お子様のスキルに合った適切なトレーニングと合わせて、電動バイクの世界を快適にお楽しみいただけることを心より願っております。

1. オートバイのID(識別).....	1
1.1. 車両識別番号(プレート).....	1
1.2. Bluetooth デバイス.....	1
2. 安全にお乗りいただくために.....	2
2.1. 注意と警告マークについて.....	2
2.2. マニュアルに従って使用する.....	2
2.3. 車両をご使用になる前に.....	2
2.4. ピクトグラム(絵文字).....	3
2.5. オートバイを使用する際の安全のアドバイスと警告.....	4
2.6. 火災の危険性について.....	4
2.7. 改造・改ざんへの警告.....	4
2.8. 車両を整備する.....	5
2.9. 洗車.....	6
3. 車両のお届け、輸送と保管.....	7
3.1. 車両のお届け.....	7
3.2. 車両の移送.....	8
3.3. 車両の保管.....	8
4. はじめに.....	10
4.1. 品質.....	10
4.2. 環境.....	10
4.3. トライアル・シリーズ/1,2.....	10
4.4. モトクロス・シリーズ/1,2.....	10
4.5. スーパーモタード・シリーズ/1,2.....	11
5. 保証について.....	12
5.1. 2年保証が適用されるもの.....	12
5.2. 修理の制限.....	12
5.3. 適用の除外.....	12
5.4. 補足.....	13
5.4.1. 保証のための車両のオンライン登録.....	13
5.4.2. お客様により責任を負っていただくもの.....	13

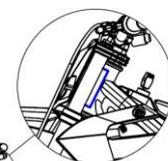
6. 各部の名称.....	15
6.1. トライアル.....	16
6.2. モトクロス.....	17
6.3. スーパーモタード.....	18
6.4. その他各部の名称.....	19
7. 仕様諸元.....	20
7.1. トライアル 1.....	20
7.2. トライアル 2.....	21
7.3. モトクロス 1.....	22
7.4. モトクロス 2.....	23
7.5. スーパーモタード 1.....	24
7.6. スーパーモタード 2.....	25
8. メンテナンスと使用方法.....	26
8.1. シャシー.....	26
8.2. スイングアーム.....	26
8.2.1. スイングアームのメンテナンス.....	27
8.3. リチウムイオンバッテリー/アキュムレータ(蓄圧器).....	27
8.3.1. バッテリーの充電.....	28
8.4. モーター.....	31
8.4.1. モーターのメンテナンス.....	31
8.5. ブレーキ.....	31
8.5.1. ブレーキのメンテナンス.....	32
8.6. フォークとステアリング.....	32
8.6.1. フォークとステアリングのメンテナンス.....	33
8.7. リア・ショック・アブソーバー.....	33
8.7.1. リア・ショック・アブソーバーのメンテナンス.....	34
8.8. トランスミッション.....	34
8.8.1. トランスミッションのメンテナンス.....	36
8.9. ホイールリムとタイヤ.....	36
8.9.1. ホイール・リムとタイヤのメンテナンス.....	37
8.10. サイドスタンド.....	37
8.11. パワーリミッター.....	37
8.11.1. パワーリミッター動作手順.....	38
8.12. シャットダウン・デバイス.....	38
8.13. スロットルと、バッテリー残量インジケータ.....	39

9. メンテナンス・スケジュール.....	40
10. 締結.....	41
11. 車両の発進と停止.....	42
11.1. 乗車前点検とケア.....	42
11.2. 車両を発進させる.....	42
11.3. 車両を停止させる.....	43
12. Bluetoothアプリのペアリング.....	44
12.1 ペアリングの仕方.....	44
12.2. 設定.....	46
12.3. ペアレンタル・コントロール.....	47
13.トラブル・シューティング.....	49
14. おわりに.....	50
14.1. よくあるご質問.....	50
14.1.1. このオートバイには、ビギナーのために速度を制限できる機能はありますか？..	50
14.1.2. トロット・キッズの使用には、最少年齢制限はありますか？.....	50
14.1.3. 公道を走ることはできますか？.....	50
14.1.4. 第三者賠償責任保険のようなものを、必ずかける必要がありますか？.....	50
14.1.5. 車両は、防水ですか？.....	50
14.1.6. バッテリーを、充電器に接続したまま放置しても大丈夫ですか？.....	51
14.1.7. 気温が低くなるとバッテリー持続性能が下がるのは、どうしてですか？.....	51
14.1.8. トロット・キッズのブレーキは、回生ブレーキ・システムですか？.....	51

# 1. オートバイのID（識別）

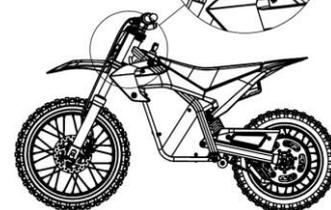
## 1.1. 車両識別番号（プレート）

トロット・キッズには、プレートに刻まれたシリアル・ナンバーがステアリング・パイプに付いており、車両固有の文書類と紐づけされ識別できるようになっています。



車両が盗難に遭った時や、交換部品を注文する時のために、下記の余白にシリアル・ナンバーを記載しておくことをお勧めします。

- 車両認識番号:



## 1.2. Bluetooth デバイス

トロット・キッズには、スマート・フォンのアプリケーションに接続できるBluetoothが搭載されています。Bluetoothアプリ使用方法の章で、端末とアプリケーションの使い方について説明していますのでご参照ください。

車両とスマートフォンをペアリングさせるには、Bluetooth端末のIDとパスワード（PIN）が必要です。

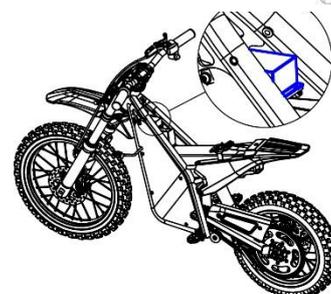
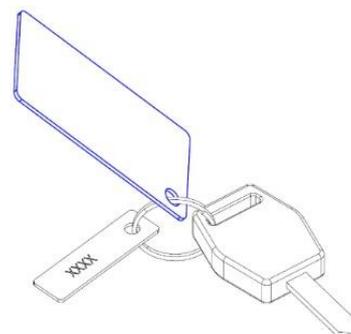
IDとパスワードは、キーカードにオートバイの鍵と一緒に付属しています。

同じ情報が、車両のBluetooth端末にもステッカーで添付されています。

万が一、添付のステッカーやキーカードのタグを紛失してしまった時のために、端末IDとパスワード（PIN）は下記の余白に記載しておきましょう。

- 端末 ID:

- PIN(パスワード):





## 安全にお乗りいただくために

この章では、車両使用においての一般的な安全性について記載しています。よくお読みになり、これから車両を使用するにあたって、またメンテナンス事項において、起こりうるリスクや危険性についてご理解いただきますようお願いいたします。

このマニュアルは、今後必要になった時のためすぐに取り出せる場所に保管するようにしてください。マニュアルも車両の一部とお考えいただき、将来、第三者の方に車両をお売りいただく際にも、一緒に添付できるようにしておいてください。マニュアルは、ウェブサイトからダウンロードすることも可能です：<http://motorists.jp/manual-dl>

### 2.1. 注意と警告マークについて

このマニュアル内の全ての説明や注意、警告をよく読んでご留意くださいますようお願いいたします。注意や警告の意味につきましては、下記をご参照ください：



このマークは、マニュアル内の全ての安全のための規則や、危険を予防するために行うべきことを怠った場合、ライダーに起こる可能性のある小さな怪我から、果ては命に係わる事故が引き起こされる危険性があることを意味します。



このマークは、車両にダメージが及ぶ危険性があることを意味します。指示に従わないことによって起きたダメージについては、自動的に保証が適用されなくなります。

### 2.2. マニュアルに従って使用する

この車両は、オフロードを走行するバイクとしてデザインされており、ライダーの体重制限は30kgまでとしています。

この車両の乗車人数は一名です。

この車両は競技用車両ではありません。



この車両はオフロード走行用にデザインされていますので、定められた適切な場所を走行するようにしてください。不適切な使用または場所を走行すると、その環境によって車両にダメージを及ぼす危険性があります。

車両を使用する国の法律によっては、年齢や速度の制限、車両を使用できる場所の制限など細かい規則が設けられている場合があります。車両を使用する際は、それらの規則を十分確かめたうえでご使用になってください。

### 2.3. 車両をご使用になる前に

このマニュアル内に記載された、安全性や使用方法、車両のメンテナンス等に関する大切な事項をよくお読みになり、必ず従うようにしてください。



目に見える異常や故障があるときは、絶対に車両を始動させないでください。

車両をご使用になる前に、「乗車前点検とメンテナンス」の章をご参照いただき、手順に従って点検を行ってください。

## 2.4. ピクトグラム（絵文字）

この車両には、各所に注意や警告のピクトグラム（絵文字）が貼られています。これらのピクトグラムは剥がしてはいけません。剥がれてしまったり、掻き消されて見えなくなってきたら新しいものを添付してください。お近くのモータリスト e-ディーラーにお尋ねください(参照番号：BE95245TT-CNC-1)。



ピクトグラムが全て添付されているか、いつも気を付けていきましょう。



これらのピクトグラムの意味は下記の通りです:



マニュアルをよく読んでください



車両乗車定員は一名です



この車両は舗装路走行用ではありません



ヘルメットとプロテクターを常に装着してください



6才未満のお子様には適しません



必ず大人の付き添いのもと使用してください



ライダーの体重制限30 kgまで



## 2.5. オートバイを使用する際の安全のアドバイスと警告

子供達がこのオートバイを使用する際は、常に大人の監視下で行うようにしてください。適切な場所で、子供たちが安全に乗れるよう責任を持って監視しながら、怪我をさせないように十分に気を付けましょう。

どのお子様も安全にお乗りいただくために、レベルに合った乗り方を監督、指導するようにしてください。

怪我を防止するために、ライダーは必ずプロテクターが付いた長袖・長ズボンを着用し、ヘルメットやブーツ、グローブ等も忘れずに装着してください。

ライダーが車両に乗る前に、親御さんまたは保護者の方が、必ず準備が整っているか確認をしてからお乗りいただくようにしてください。トレーニングや練習など数名が乗る場合は、お互いが接近しすぎないように注意し、年齢や身体の大きさだけに囚われずそれぞれの技量を良く見てレベル分けするようにしましょう(例：身体能力、メンタルの強さや心の成熟度合いなど)。



子供達が乗り始める前に、監督責任者は彼らの技量が車両を乗りこなすのに十分であるかよく確認するようにしてください。また、このマニュアルの使用説明や注意書きをよく理解してから乗り始めるようにしましょう。

大人の目の届かないところで子供達が勝手にオートバイを使用することのないように、キーは子供達の手の届かない場所に保管するようにしてください。

このオートバイは、出荷時はスピードとパワー制限がかかる設定になっています。このシステムを解除するのは、お子様が一人で正しく使用できるようになってからにしましょう。

転倒した際には、お子様ご自身でオートバイを起こすことができるように練習しましょう。オートバイに乗るのが初めてのお子様は、スクールなどで習ってからお乗りいただくことをお勧めします。

車両のいくつかの部分は、使用中非常に熱くなる場合がありますので、不用意に接触して火傷しないようにしましょう。

## 2.6. 火災の危険性について



多くの電動車両に搭載されているリチウムイオン・バッテリーは、火災を伴う危険性を持っています。万が一車両火災が発生したときは、必ず消防に通報し、リチウムイオン・バッテリー搭載の車両火災であることを教えてください。

リチウムイオン・バッテリーが最良の状態であれば、車両火災を起こす危険性はありません。バッテリーの劣化が見られる場合は、お近くのモータリスト e-ディーラーにお尋ねください。

## 2.7. 改造・改ざんへの警告



車両の、機械的部分または電装類について、いかなる場合であっても改造や改ざんは許可されません。改造や改ざんをすると、車両を安全に使用することができなくなり、車両の保証事態も適用されなくなります。

## 2.8.車両を整備する

車両のメンテナンスは、このマニュアルの指示に従って正しく行ってください。

正しいメンテナンスや修理・交換を行うには、特別な知識と技量、技術的な理解が必要とされます。ライダーの安全を守るためにも、修理・交換はお近くのモータリスト e-ディーラーにお任せください。

このマニュアルに記載のない修理や部品交換、あるいは不明瞭な点がある場合も、お近くのモータリスト e-ディーラーに是非お尋ねください。



ライダーの安全のためにも、修理・交換にはトロット専用純正部品をご使用になってください。社外品のご使用により起こったダメージにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。いかなる状況においても、電気系統や電装部品(バッテリー、モーター、コントローラー、スロットル、Bluetoothモジュール、救助装置(位置情報発信機)、バッテリーコネクター)を開けたり分解しないでください。



マニュアルで指定されているオイルや潤滑剤、メンテナンス用薬剤を使用してください。



マニュアルで指示された締め付けトルク(値)に従ってください。

車両のメンテナンスを開始する前に、スイッチがオフになっていることを確認しましょう。この車両はとても静かです、スイッチがオンの状態でスロットルを開けると、一気に車両は動き出します。通電した状態でのメンテナンス作業は、感電する恐れがありますので絶対にしないでください。専門技術の習得と資格、適切な工具の使用が、電気系統のメンテナンスには必須です。

車両のメンテナンスや修理・交換を行う際は、必ずバッテリーを外して5分以上おいてから作業を行ってください。バッテリーを外していても、5分以内では感電する恐れがあります。オートバイを使用している間、いくつかの車両のいくつかの部分は非常に熱くなることがあります。メンテナンス等を行う際は、車両が十分に冷えてから行ってください。



## 2.9. 洗車

車両を洗車する際に石鹼類やケミカル類（化学物資）を使用しますと、プラスチック表面や塗装面を傷つける恐れがあります。



バッテリーを搭載したまま、オートバイを洗車しないでください。「バッテリーを取り外して充電する」の章を参照してバッテリーを車両から取り外し、最低でも5分以上おいてから洗車を開始するようにしてください。また、バッテリーの清掃に、水や電導性のある物は決して使用しないでください。

バッテリー・コンパートメント内に泥や土、埃や他の異物が入ったら、注意深く取り除くようにしてください。



ブレーキシステムは、決して石鹼類や有機溶剤等のケミカルを含むもので清掃しないでください。清掃の際は、必ずブレーキ専用のものを使用してください。



ブレーキ清掃後は、注意深くブレーキを作動・制御しながらブレーキシステム内を乾燥させるようにしてください。



オートバイを、高圧の水で洗淨しないでください。泥などを取り除く際は、優しい水圧の水で十分落とすことができます。

いかなる場合であっても、オートバイが冠水したり水没することのないように備えておきましょう。

## 3.車両のお届け、輸送と保管

### 3.1.車両のお届け

梱包や車両に傷や破損はないか確認してください。



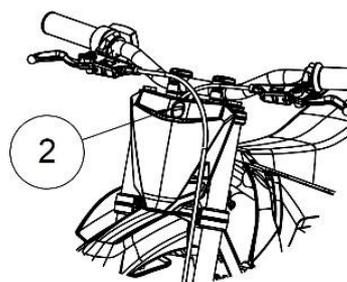
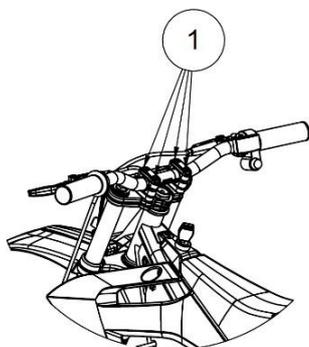
梱包材によって窒息する恐れがあります。子供の手が届かないように気を付けましょう。

箱入りのオートバイが届いたら、以下の同梱物を確認してください：

- 1x バッテリー付きKIDS(キッズ)オートバイ
- 4x M6アレンスクリュー:ハンドルバーのマウント(台座)に固定されています
- 1x バッテリーチャージャー
- 1x バッテリースペース(間に挟むウレタンフォームの小片)
- 1x "TORROT KIDS(トロット・キッズ)へようこそ" 冊子

車両が箱入りの状態で届いたら、下記の手順に従ってハンドルを取り付けてください：

1. アレンスクリュー 4つ (1) を、ハンドルバーマウントから外す。
2. ハンドルバーをマウントに取り付け、アレンスクリュー 4つを優しく締める。
3. ULS M6 スクリュー (2)を回してプラスチック・ナンバープレートを緩め、ブレーキホースとケーブルを無理のない位置に調整する。(\*)
4. ハンドルバーの角度をライダーが使用しやすい位置に合わせてから、4つのアレンスクリューをしっかりと締結する。
5. プラスチック・ナンバープレートを再び合わせてから締める。(\*)



(\*)モトクロスとスーパーモタードモデルのみ。



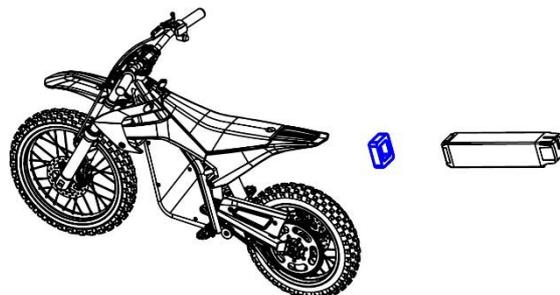
ハンドルバーの取り付け作業は、車両の構造やハンドル操作の安全性に影響を及ぼす非常に繊細な作業です。作業を行う際は、お近くのモータリスト e-ディーラーにお尋ねください。



各ボックスの中のシリアル・ナンバー、キー・ナンバー、Bluetooth端末情報などは、必ず忘れずに「オートバイの識別」の章に記載しておくようにしてください。

配送時は、車両のバッテリーコンパートメントに緩衝材が入っていますので、取り除いて使用してください。

通常、バッテリーは取り外された状態で配送されません。配送時のバッテリーの充電状態は、約30%ほどです。バッテリーを接続して使用した後、充電する際は「バッテリーを車両から取り外して充電する」の章を参照し、車両から取り外して充電してください。



## 3.2. 車両の移送

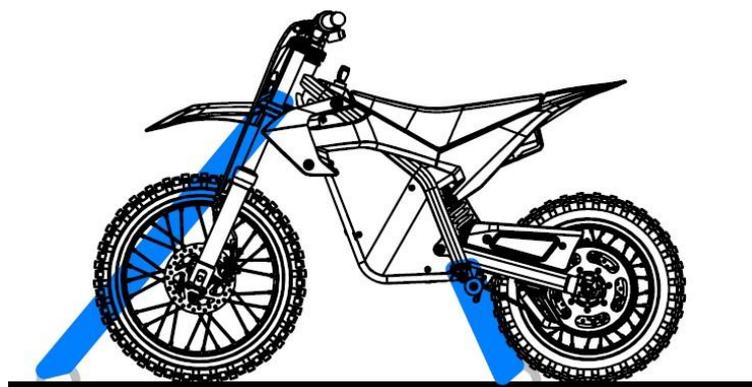
バッテリーをオートバイに取り付けた状態で車両を移送する場合は、バッテリーの破損を防ぐために必ず緩衝材も取り付けられた状態で行うようにしてください。

バッテリーを取り付けた状態で車両を移送しなければならない場合は、必ず緩衝材でバッテリーを保護するようにし、もし破損などが見つかった場合は速やかに近所のモータリストe-ディーラーにお尋ねください(バッテリー・リファレンス番号: ACTT-11004)。

バッテリー残量はおおよそ30%の状態です。バッテリー残量を確認するには、バッテリーをオートバイに取り付けてメインスイッチをオンにしバッテリー・インジケータの1つ目のブロックまで点灯していることを確認します。

バッテリーの移送については、それぞれの国の法律に従って行うようにしてください。

車両を裸の状態ですべてを移送する際は、適切なストラップ、または器具でしっかりと固定し、移送中に車両が倒れたり落ちたりしないようにしてください。締結の仕方は下図を参照してください。



## 3.3. 車両の保管

長期間車両を保管する場合(動かさない):

- 「バッテリーを車両から取り外して充電する」の章を参照してバッテリーを車両から取り外しておくか、「車両の配送」の章を参照して緩衝材を取り付けた状態で保管してください。
- 車両を良く洗車して完全に乾燥させてから、保管するようにしてください(「車両を洗車する」の章を参照してください)。
- チェーンや可動部分を丁寧に潤滑しておいてください。

- 塗装されていない金属部分の表面が錆びつき、剥がれた錆がブレーキやゴムパーツに侵入することを防ぐためにオイルを塗布しておきましょう。
- タイヤを地面から浮かせた状態で保管するのが理想ですが、不可能であればタイヤの下に段ボールなどを敷いた状態で保管してください。
- 埃や汚れが付着しないように、覆い(カバー等)をして保管するようにしてください。
- 各部の機能が正常に作動するか、定期的に車両の点検を行ってください。



定期的にバッテリー残量の点検を行ってください。残量は40-60%が理想です。バッテリー残量を確認するには、バッテリーを車両に取り付けた状態でメインスイッチをオンにし、バッテリー・インジケータのブロックの、2つ目ないしは3つ目が点灯していることを確認してください。もしそれ以下の状態であるときは充電を行ってください。正し、フル充電の状態であるときは、バッテリー残量が40-60%に減るまで車両を可動させるようにしましょう。

- バッテリーを長期間保管する際は、バッテリーのパフォーマンスを保つために完全放電させてから充電する行為を3ヶ月ごとに行うようにしてください。3ヶ月ごとにこのメンテナンスを行いながら、適切なコンディションでバッテリーを保管しましょう。

車両は必ず下記のコンディションで保管するようにしましょう:

- 清潔な乾燥した、換気の良い腐食性のガスなどが無い場所。
- 気温15~25℃。
- 湿度45~75%。
- 直射日光にさらされない場所。

長期保管の後に車両を動かす:

- 必要箇所全体に潤滑を施す。
- タイヤの空気圧を点検し、必要であればこのマニュアル内で指示されている適正値に合わせて空気圧を調整する。
- バッテリーを100%充電した状態で車両に搭載する。



## 4.1. はじめに

若いライダー達が二輪の世界を知り、手っ取り早く学んで技術を向上させるのに、電動オートバイのキッズ・シリーズは非常に役立ちます。これほどまでに、トレイルやモトクロス、スーパーモタードを模してミニチュアにしたものは他にはありません！

キッズ・シリーズは、オートバイに乗ったことのない子供が、初めてその構造やパフォーマンスなど本物のオートバイに非常に近い状態で触れることができるようにデザインされています。さらに言えば、安全性にも100%好印象を抱いていただけるように、非常に高い安全基準に沿ってデザインされています。

学びそして楽しむことに関しても、子供の運動神経や責任感、バランス感覚や集中力といった教育学的にも非常に内容の濃い学びを、トロット・キッズは子供たちに与えてくれます。環境にも優しく、静かでメンテナンスも簡単です。

もし不具合や不明な点があれば、お近くのモータリストe-ディーラーにお尋ねください。また、Eメールでも [info@motorists.jp](mailto:info@motorists.jp) お問い合わせいただけます。車両認識番号と、お問い合わせ内容、ご連絡先などをご記入ください。

## 4.1. 品質

我々の誇る技術者が、子供たちの初めてのオートバイの世界への一歩を応援するべく、情熱と愛情をもってデザインしたバイクで、まさに本物のオートバイのミニチュア版と言えます。トロット・キッズ・シリーズで楽しみながら学び、スキルを向上して、子供達を素晴らしいライダーにしましょう。

## 4.2. 環境

ライディングをより効率的で環境に優しいものにするために、無駄にアクセルを開けたり急ブレーキをかけたりすることはやめましょう。このシリーズの車両は、厳しい環境基準ののっとしてデザインされています。

キッズ・シリーズのバイクは、ほとんどが再生利用可能な素材で作られており、車両の95%が再生利用可能な素材です。さらに、この車両は分解も簡単にできるようにデザインされており、リサイクル利用しやすいように配慮されています。寿命が来たときは、認可された処理施設にて適切な処理を受けてください。

## 4.3. トライアル・シリーズ/1,2

特別なスパイク・タイヤを使用している、トライアル用のバイクです。このモデルは、若いライダー達が理想的な形で最初のステップを踏み出せるように、ほぼそれらと同等の使用感を味わえるように作られています。最も本物に近い体験ができるよう、トライアルを愛するプロのライダーによって監修されています。このトライアル・シリーズは、スペシャル・キットによってモトクロス仕様やスーパーモタード仕様にもできることもお忘れなく！

## 4.4. モトクロス・シリーズ/1,2

オフロード・タイヤを使用するモトクロス・バイクです。このモデルによって若いライダー達は、アクセルをあげる喜びと無敵の感覚を味わうことができます。頑強なシャシーや簡単には壊れることのないプラスチックパーツ、そしてそのパワーパフォーマンスがこのオートバイを非常に個性的なものにしています。このモトクロス・バイクも、もちろんスペシャル・キットでトライアルやスーパーモタードにすることができます。

## スーパーモタード・シリーズ/1,2

ロード・タイヤを使用する、スーパーモタード用のバイクです。このモデルは、その非常にユニークなパフォーマンスで、若いライダー達に何物にも変え難い感動を与えてくれるはずです。このバイクも、スペシャル・キットをつけることによってトライアルやモトクロスバイクとして使用することができます。



## 5. 保証について

TORROT ELECTRIC EUROPA S.A. は下記の使用期間において、欠陥なく正常に動作しているトロット電動バイクのオリジナル部品(最初に取り付けられている部品)のみに保証が適用されるものとします。

### 5.1. 2年保証が適用されるもの

- トロット電動バイクのオリジナル(最初に取り付けられている)部品。
- トロット・キッズに使用されているバッテリーの使用条件やメンテナンスについては、マニュアルをご参照ください。

ここで言う保証とは、TORROT ELECTRIC EUROPA S.A.によって承認されたトロット電動バイク、または直接オンライン経由で注文し工場やディーラーで組み立てられて購入した車両にのみ適用されることを言います。保証は、未認可のパーツやTORROT ELECTRIC EUROPA S.A.によって承認されていない会社によって販売されているものには適用されません。

### 5.2. 修理の制限

前述した保証または常識の範囲内で行われる保証以外で、部品に欠陥があった場合、オリジナル車両と同等またはそれ以上の部品と交換する際の判断は、全面的にTORROT ELECTRIC's の裁量によるものとします。この保証は、車両を購入したオーナー様だけに適用されるものとし、譲渡された場合には適用されませんのでご注意ください。

TORROT ELECTRICは、人身や財物、財務上における障害や損壊、損失などお客様ご自身の過失による損害を含まない、直接的または偶発的に起こった本製品に起因する事象については、契約または保証の範囲内を基本としてその責任を負う旨を本書をもって証することとします。

### 5.3. 適用の除外

上記の保証、または他のいかなるTORROT ELECTRIC EUROPA S.A.によって認められる保証には、以下のものは含まれない：

- タイヤやチェーン、ドライブ・スプロケットやリア・スプロケット、ブレーキやホース類などの、組み立てや部品の欠陥ではない、摩耗や損傷。
- 製造元やTORROT ELECTRICと無関係の認証されていない第三者によってメンテナンスや修理が行われた場合。
- 車両がオリジナルの状態から改造されたもの。
- TORROT ELECTRICの車両を不適切な使用の仕方、あるいは広告宣伝のような本来の目的以外の使用に用いられた場合。
- オーナズ・マニュアルに従わなかったことによって起こった損傷や破損。
- 競技参加による、またはそれらのためのトレーニングやイベントに参加した際の天候や外的状況により受けた塗装や外装への損傷。
- 化学薬品や塩害、錆や色褪せ、自然劣化による外的要因による損傷。

- 物流や部品の修理・交換にかかった人件費や労力。

この保証の範囲内で供給されたもの以外について、TORROT ELECTRICとその従業員や代理店は、破損や欠損など他いかなる種類の損傷(過失や不注意による重大な欠損や破損を含む)に対しての責任を負いません。

TORROT ELECTRIC EUROPA S.A.は、広告・宣伝目的や上記記載のある特定の目的に適合するものに対しては、どのような場合でも保証はいたしません。

保証を受ける際のお申し込みは、お近くのモータリスト e-ディーラーにお問い合わせください。車両ご購入時の「送り状」に、購入の日付とVIN(車両認識番号)が記載されていますので、合わせてお知らせください。

保証を受ける際、部品などの取り寄せ先(海外)の状況によっては、諸費用がかかる場合があります。

車両のタイプやバッテリー、あるいは使用する国によって、保証内容の詳細や用語は異なります。この保証は特定の法律によって承認されていますが、車両を使用する国や地域によっては、適用される法律が複数になる場合もあります。この保証が、法律によって既定された権利を脅かすことはありません。

## 5.4. 補足

### 5.4.1. 保証のための車両のオンライン登録

保証の権限を有効化(開始)するには、ご購入いただいたモータリスト e-ディーラーにて車両の登録が必要です。

### 5.4.2. お客様により責任を負っていただくもの

TORROT ELECTRIC EUROPA S.A. は、お客様が適切な保証を受けることができるように、必要かつ確実にメンテナンスを行っていただくようお願いしています。また保証を受けることができるのは、モータリスト e-ディーラーによって整備されている車両に限ります。お客様には、お手持ちの車両をできるだけ良好な状態で保つ責任があります。保証が適用されている間、お客様には車両に必要とされる定期点検やメンテナンスを正しく行う義務があります。これらが守られない場合は、保証権限が失効することがございますのでご注意ください。

トロット電動バイクの誤った使用や、常軌を逸した乱暴な使い方をして起きた損傷や破損、車両を放置することにより受けたダメージなどにも保証は適用されません：

- テクニカル・データシートやマニュアル、あるいはトロットのウェブサイト: [torrot.jp](http://torrot.jp) に記載されている仕様の構成や内容は予告なく変更されることがございます。



- タイムトライアルやレースなど、車両を競技または同等の、通常の使用範囲を越えた目的で使用した場合。
- このマニュアルに記載されている定期点検を含む、必要かつ適切なメンテナンスやクリーニングがおろそかにされている場合。
- オドメーターや他の電子機器(コントローラー、電子部品等)が不正に変更されている場合。
- 車両の不正な貸し出しが行われた場合。
- 各車両に認証されているマニュアル記載、あるいはオンライン・オフライン双方のTORROT ELECTRIC EUROPA S.A.のカタログ記載の最大荷重が守られていない場合。
- バッテリーやブレーキのキャリパーやパッド、セカンダリートランスミッション、タイヤやシート、電子機器やサスペンションエレメントなどの消耗部品。
- 電気系統や電子機器がオリジナルの状態から不正に変更されている場合。
- 認証されていないバッテリーや公式のものでない充電器が使用され、過充電や無制御に充電されている場合。

**ここでいう保証とは、オーナーズ(ユーザーズ)マニュアルに記載の各モデルを所有するお客様が行う、日常点検や定期点検にかかる費用を負担するものではありません。**

お手持ちの車両について不具合や問題点が発生した場合は、速やかにお近くのモータリストe-ディーラーにお尋ねください。

## 6. 各部の名称

下記の各部の名称のそれぞれのナンバーは、後述ページの車両図のナンバーと連動しています。

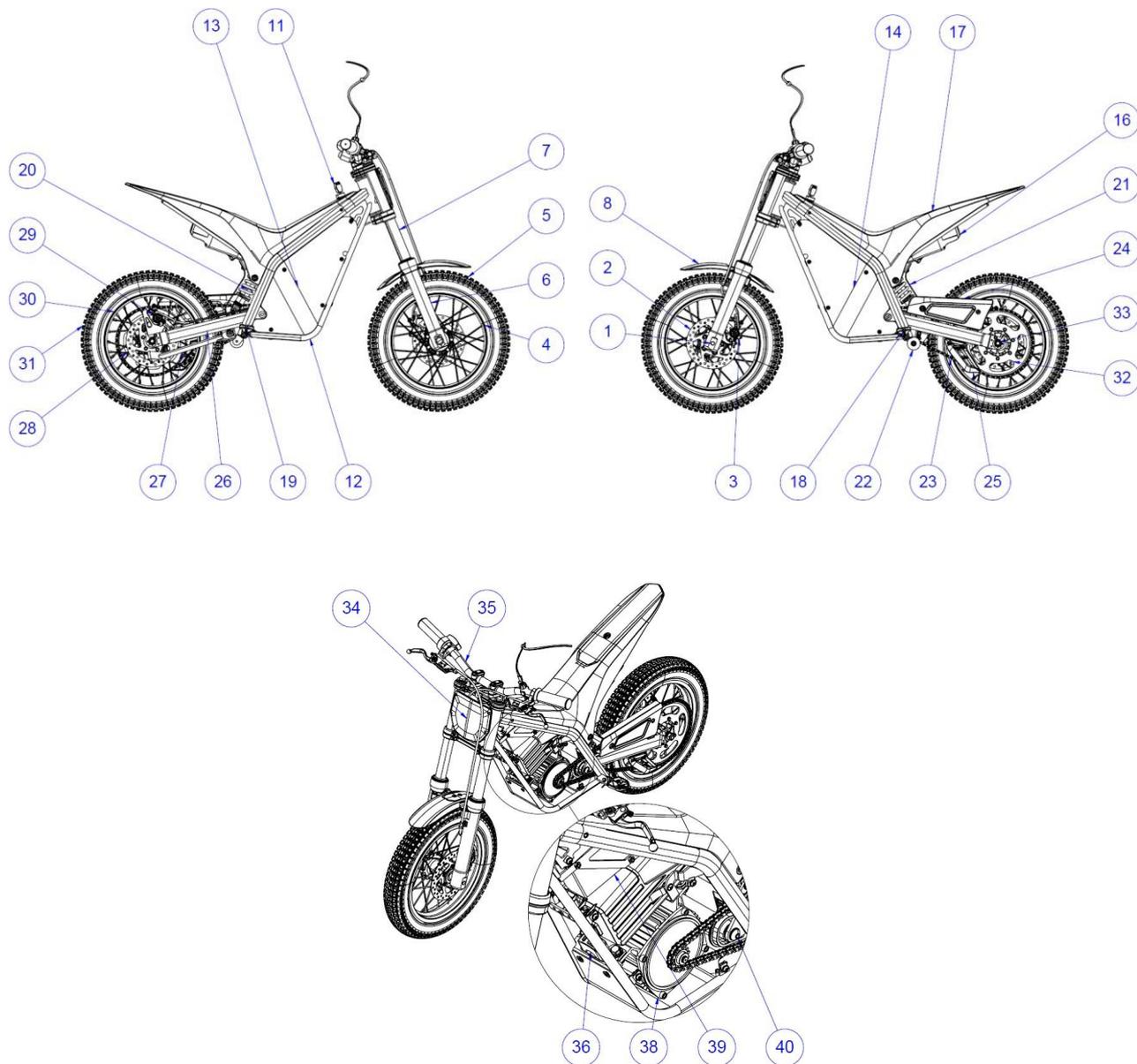
この車両のすべてのスペア・パーツについては、お近くのモータリストe-ディーラーにお尋ねください。

No.	名称	No.	名称
1	フロント車輪軸	30	リアホイールリム
2	フロントブレーキディスク	31	リアタイヤ
3	フロントブレーキキャリパー	32	リアスプロケット
4	フロントホイールリム	33	リア車輪軸
5	フロントタイヤ	34	フロントナンバープレート
6	フロントフォーク(アウターチューブ)	35	ハンドルバー
7	フロントフォーク(インナーチューブ)	36	パワーリミッター
8	フロントマッドガード	37	横プラスチックブラケット*
9	左サイドプラスチック*	38	モーター
10	右サイドプラスチック*	39	コントローラー
11	キースイッチ	40	スウィングアーム軸
12	シャシー	41	スロットル
13	右サイドガード	42	フロントブレーキレバー
14	左サイドガード	43	フロントブレーキレバーレギュレーター
15	シート*	44	フロントブレーキフルードリザーバー
16	バッテリー	45	スタートボタン
17	リアマッドガード	46	バッテリー残量インジケーター
18	左フットペダル	47	リアブレーキレバー
19	右フットペダル	48	リアブレーキレバーレギュレーター
20	リアショックアブソーバー	49	リアブレーキフルードリザーバー
21	リアショックアブソーバーガード	50	シャットダウンデバイス
22	チェーンテンショナー	51	トリプルクランプ(締め具)
23	チェーン	52	ステアリング軸
24	チェーンガード	53	ステアリングベアリング
25	スプロケットガード	54	ラディアル調整ブッシュ
26	スウィングアーム	55	フォークダストシール
27	サイドスタンド	56	バッテリーコンパートメント
28	リアブレーキディスク	57	バッテリーコンパートメントコネクター
29	リアブレーキキャリパー	(*)	モトクロスとスーパーモタードモデルのみ適用



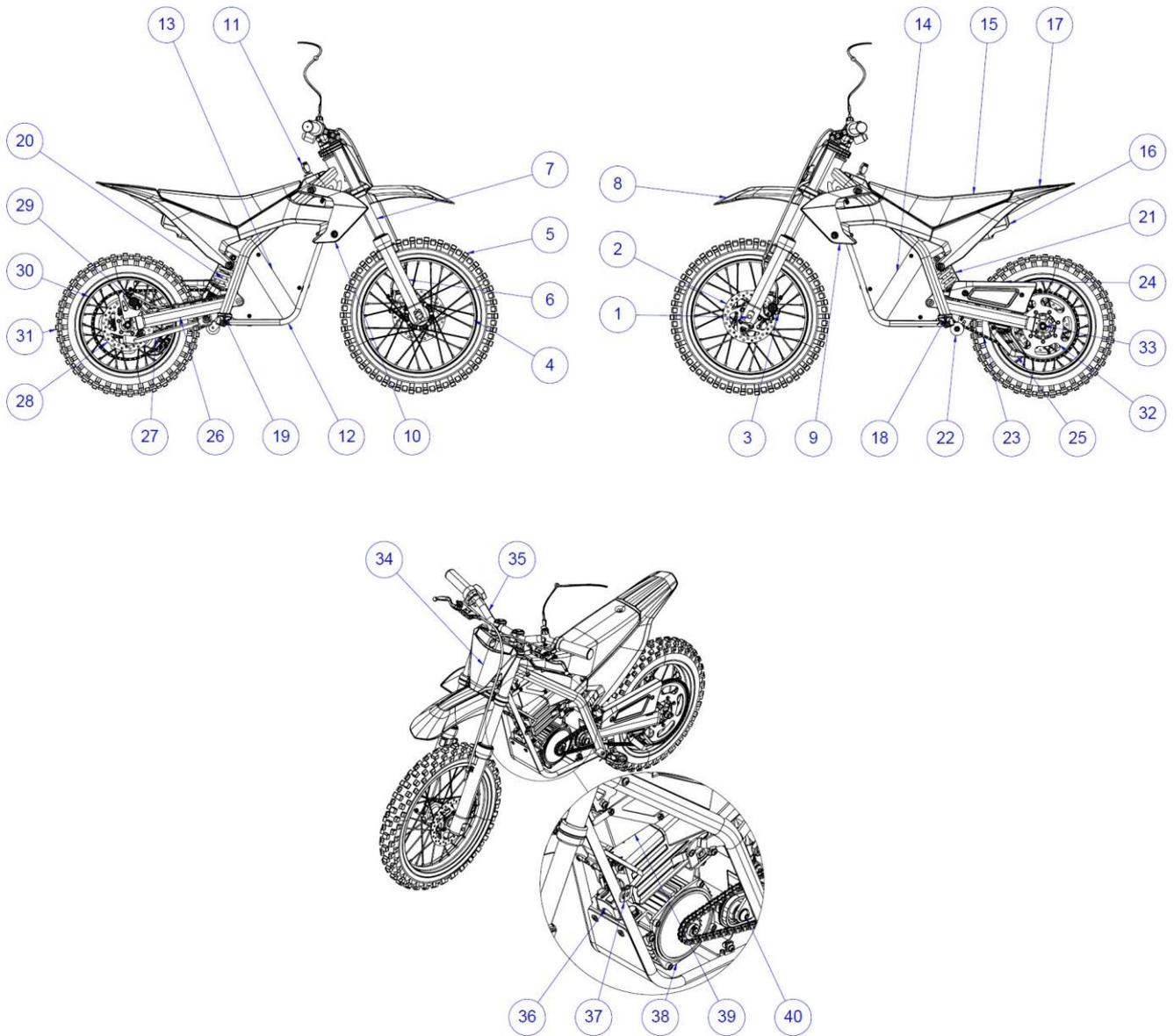
## 6.1. トライアル

シリーズ1と2では、若干下図のイメージと異なる部分がございます。



## 6.2. モトクロス

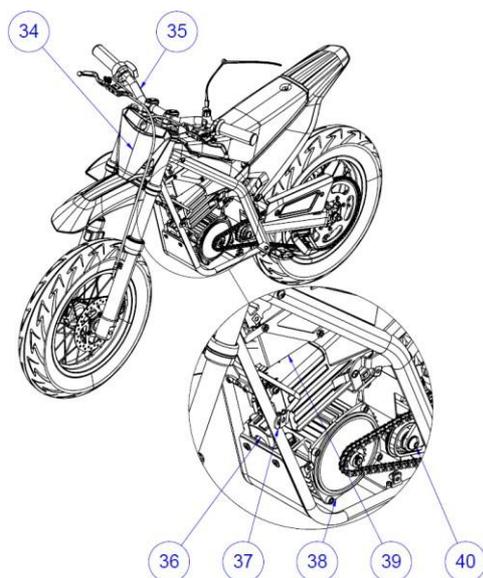
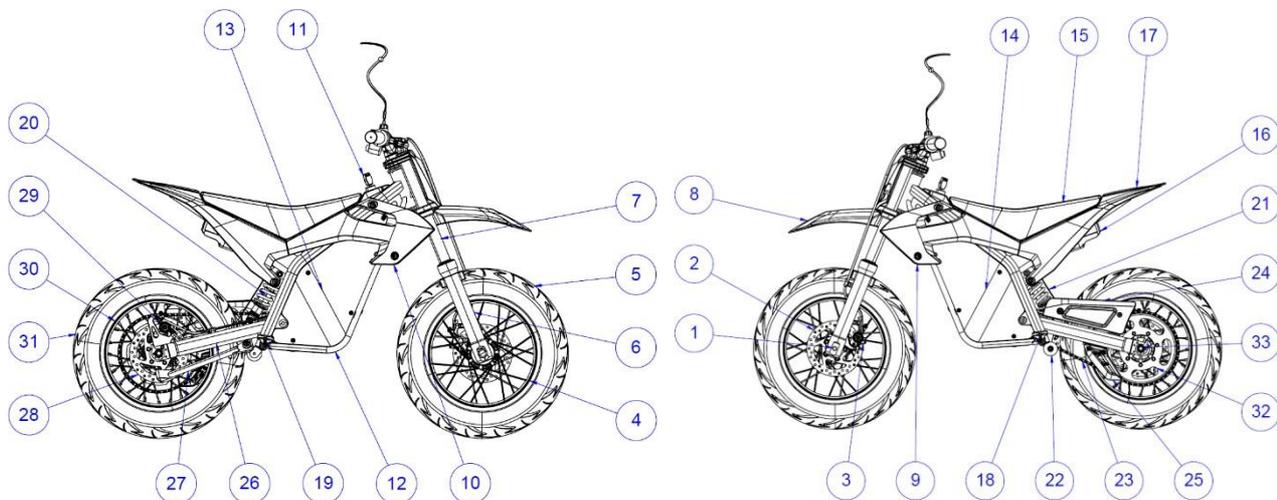
シリーズ1と2では、若干下図のイメージと異なる部分がございます。



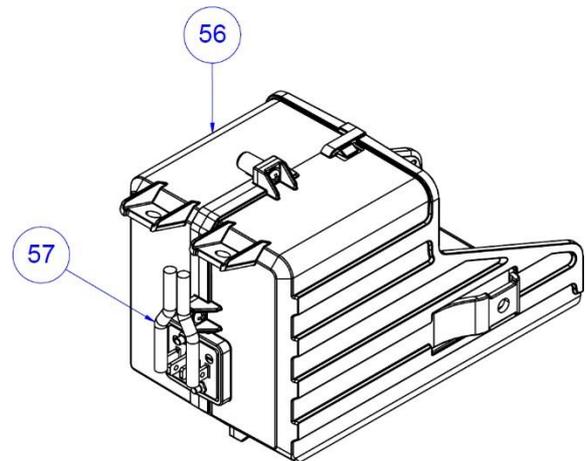
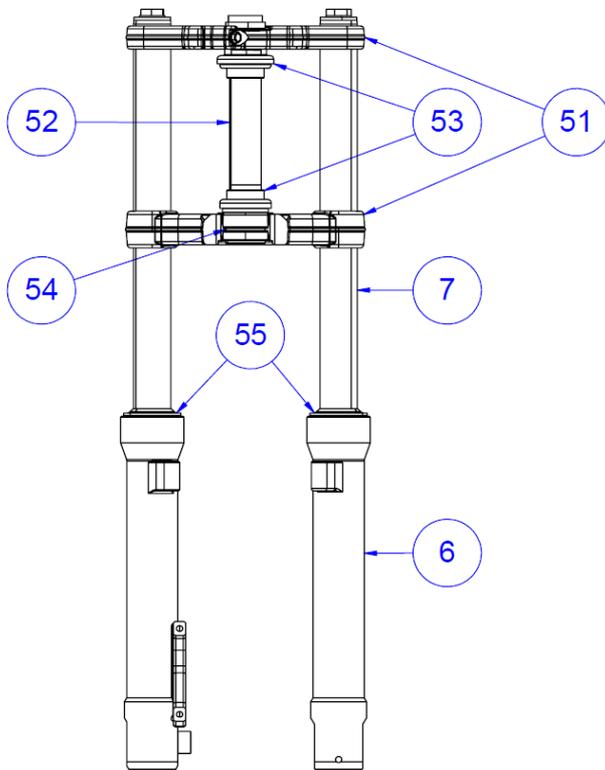
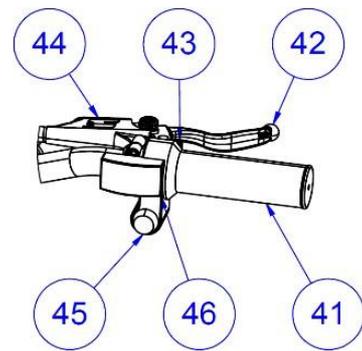
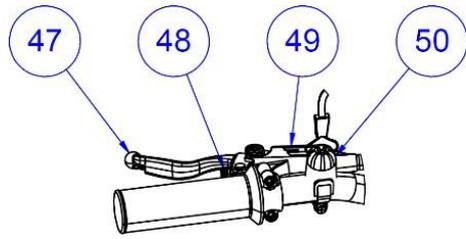


## 6.3. スーパーモタード

シリーズ1と2では、若干下図のイメージと異なる部分がございます。



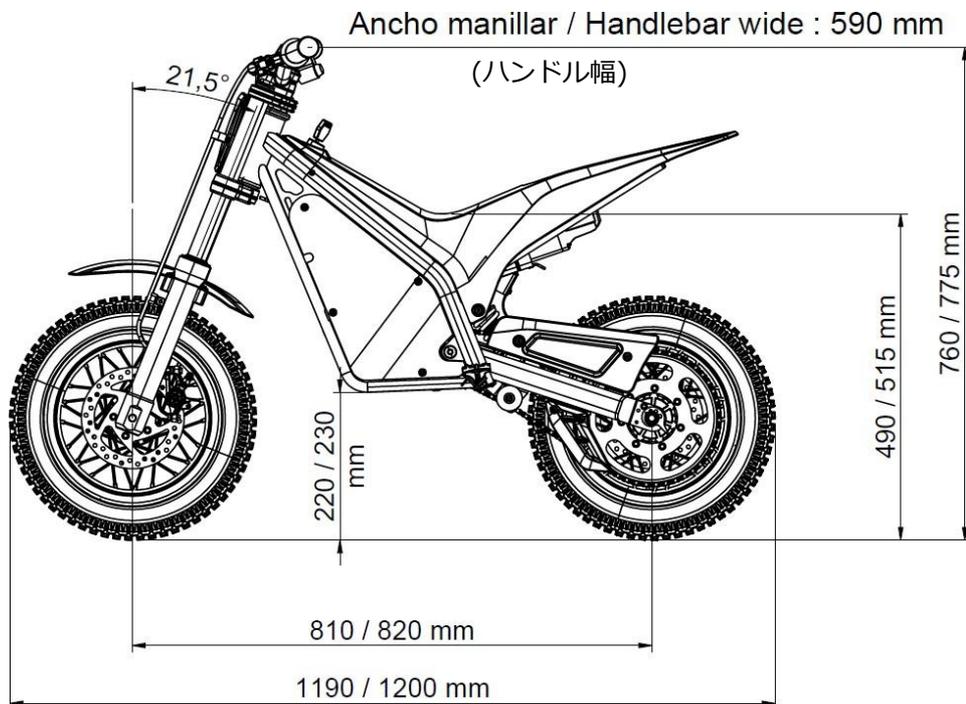
## 6.4. その他各部の名称





## 7. 仕様諸元

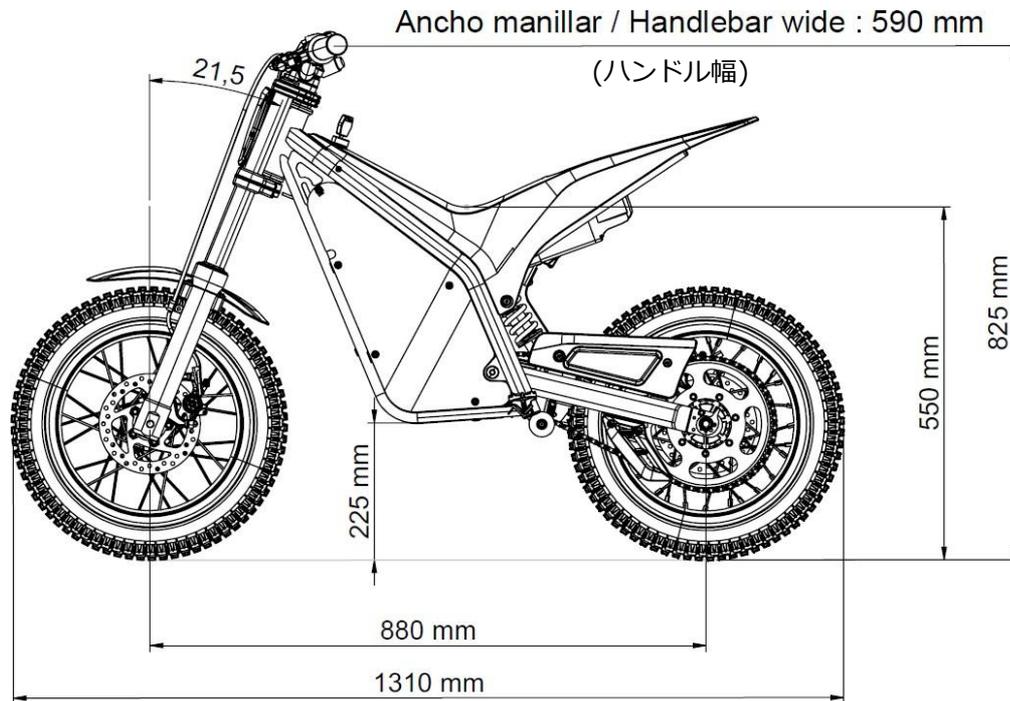
### 7.1 トライアル 1



(\*) おおよその寸法です。車両によって多少の違いが生じる場合がございます。

シャシー	チューブ - スチール製
フロントサスペンション	油圧式フォーク 95mm ストローク
リアサスペンション	プリロード調整 85mm ストローク ガス式ショックアブソーバー
ブレーキ	フロント: 160 mm 油圧式 リア: 160 mm 油圧式
バッテリー	交換可能タイプ 46.8V / 6.6Ah / 309Wh / 13S 3P
モーターコントローラー	48V / プログラミング可能パラメーターアプリ使用: スピード、パワー、スロットルレスポンスとモーター保持(復旧)
モーター	最大出力 840W
ホイールリム	フロント: 10" x 1.60" リア: 10" x 1.60"
タイヤ	フロント: TORROT Trial 10" リア: TORROT Trial 10"
装備重量(バッテリー含む)	30Kg
ライダー体重制限	30Kg
充電器	54.6V / 2A (充電時間≈4時間 / 満充電時)
その他の機能	出力制御ペアレンタルコントロール(Bluetooth)アプリ スピード/パワー・リミッター 2段階式シート高調節

## 7.2. トライアル 2

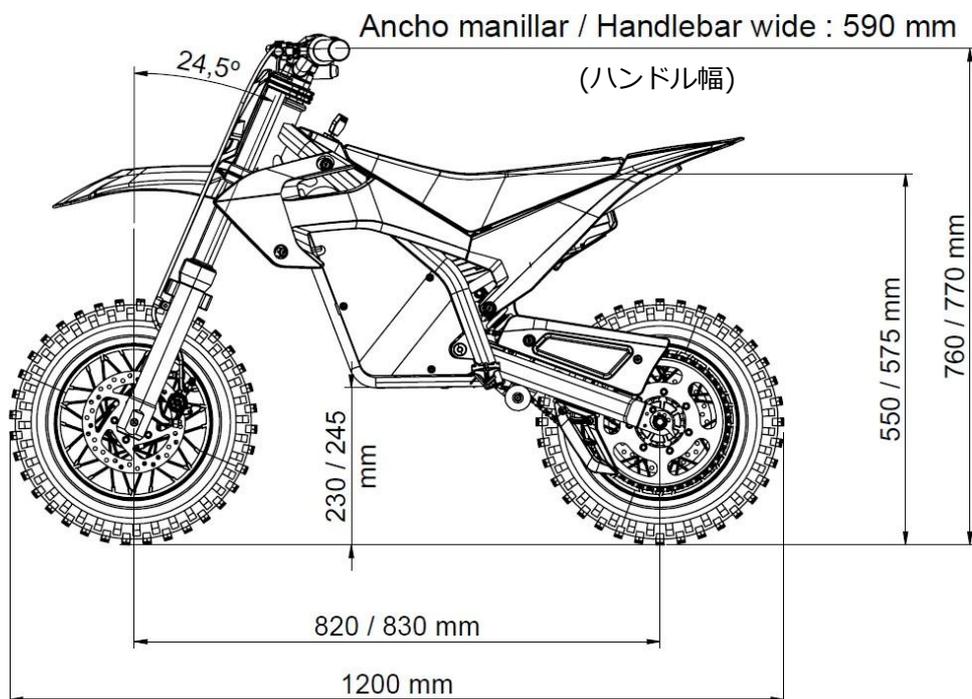


(\*) おおよその寸法です。車両によって多少の違いが生じる場合がございます。

シャシー	チューブ - スチール製
フロントサスペンション	油圧式フォーク 95mm ストローク
リアサスペンション	オイル式ショックアブソーバー プリロード調整 125mm ストローク
ブレーキ	フロント: 160 mm 油圧式 リア: 160 mm 油圧式
バッテリー	交換可能タイプ 46.8V / 8.8Ah / 412Wh / 13S 4P 48V / プログラミング可能パラメーターアプリ使用:
モーターコントローラー	スピード、パワー、スロットルレスポンス、 モーター保持(復旧)
モーター	最大出力 1500W
ホイールリム	フロント: 12" x 1.60" リア: 12" x 1.60"
タイヤ	フロント: TORROT Trial 12" リア: TORROT Trial 12"
装備重量(バッテリー含む)	33Kg
ライダー体重制限	40Kg
充電器	54.6V / 2A (充電時間~5時間/満充電時)
その他の機能	出力制御ペアレンタルコントロール(Bluetooth)アプリ スピード/パワー・リミッター



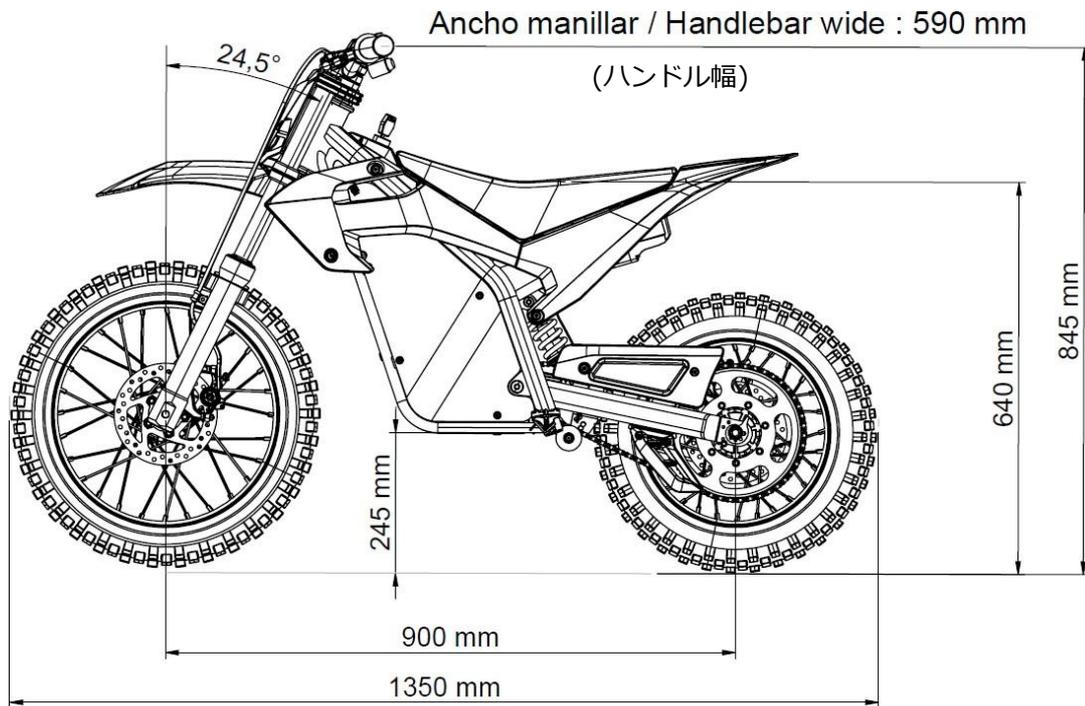
## 7.3. モトクロス 1



(\*) おおよその寸法です。車両によって多少の違いが生じる場合がございます。

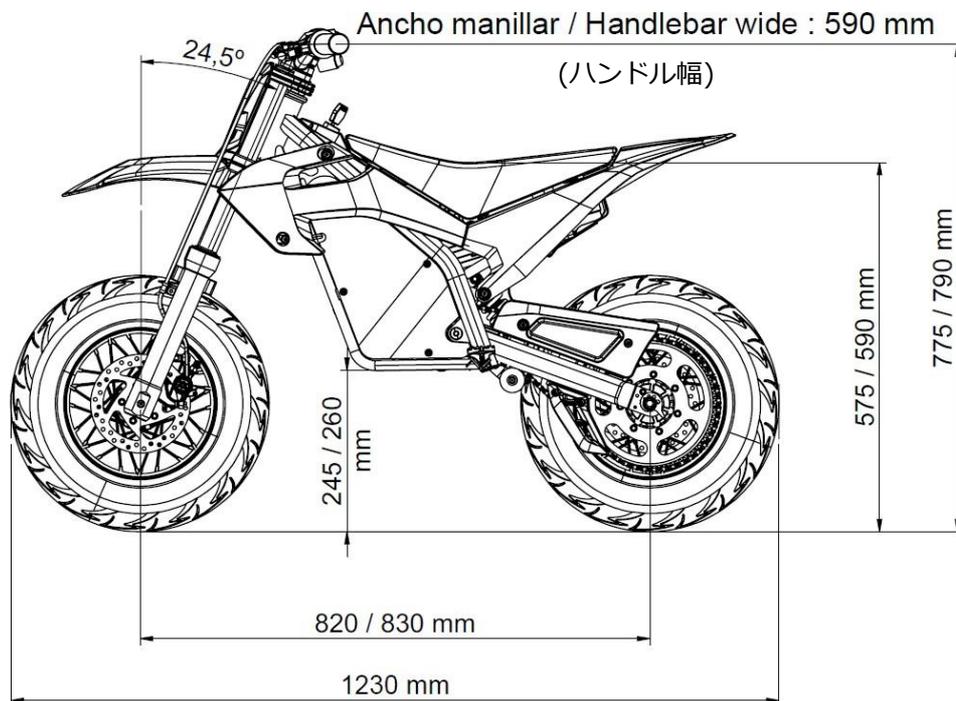
シャシー	チューブ - スチール製
フロントサスペンション	油圧式フォーク 95mm ストローク
リアサスペンション	ガス式ショックアブソーバー プリロード調整 85mm ストローク
ブレーキ	フロント: 160 mm 油圧式 リア: 160 mm 油圧式
バッテリー	交換可能タイプ 46.8V / 6.6Ah / 309Wh / 13S 3P
モーターコントローラー	48V / プログラミング可能パラメーターアプリ使用: スピード、パワー、スロットルレスポンス、 モーター保持(復旧)
モーター	最大出力 840W
ホイール	フロント: 10" x 1.60" リア: 10" x 1.60"
タイヤ	フロント: ミシュラン スタークロス 10" 2.50 リア: ミシュラン スタークロス 10" 2.50
装備重量(バッテリー含む)	31.5Kg
ライダー体重制限	30Kg
充電器	54.6V / 2A (充電時間≈4時間/満充電時)
その他の機能	出力制御ペアレンタルコントロール(Bluetooth)アプリ スピード/パワー・リミッター 2段階式シート高調節

## 7.4. モトクロス 2



(\*) おおよその寸法です。車両によって多少の違いが生じる場合がございます。

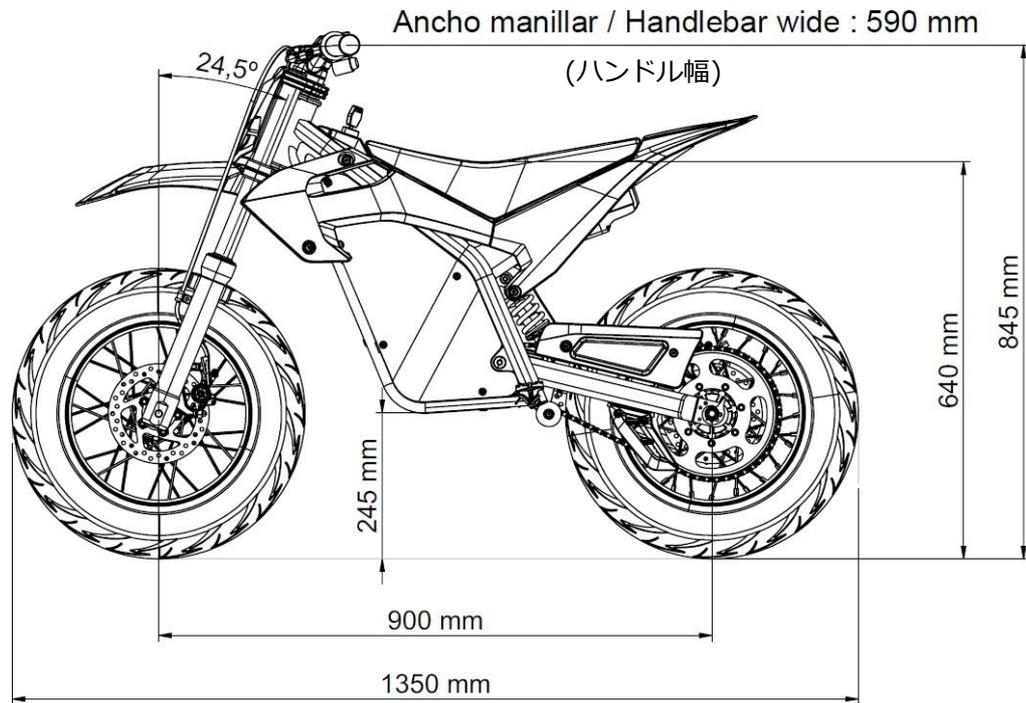
シャシー	チューブ - スチール製
フロントサスペンション	油圧式フォーク 95mm ストローク
リアサスペンション	オイル式ショックアブソーバー プリロード調整 125mmストローク
ブレーキ	フロント: 160 mm 油圧式 リア: 160 mm 油圧式
バッテリー	交換可能タイプ 46.8V / 8.8Ah / 412Wh / 13S 4P 48V / プログラミング可能パラメーターアプリ使用:
モーターコントローラー	スピード、パワー、スロットルレスポンス、 モーター保持(復旧)
モーター	最大出力 1500W
ホイール	フロント: 14" x 1.60" リア: 12" x 1.85"
タイヤ	フロント: ミシュラン スタークロス 60/100-14 リア: ミシュラン スタークロス 80/100-12
装備重量(バッテリー含む)	35Kg
ライダー体重制限	40Kg
充電器	54.6V / 2A (充電時間~5時間/満充電時)
その他の機能	出力制御ペアレンタルコントロール(Bluetooth)アプリ スピード/パワー・リミッター

**7.5. スーパーモタード 1**

(\*) おおよその寸法です。車両によって多少の違いが生じる場合がございます。

シャシー	チューブ - スチール製
フロントサスペンション	油圧式フォーク 95mm ストローク
リアサスペンション	ガス式ショックアブソーバー プリロード調整 85mm ストローク
ブレーキ	フロント: 160 mm 油圧式 リア: 160 mm 油圧式
バッテリー	交換可能タイプ 46.8V / 6.6Ah / 309Wh / 13S 3P
モーターコントローラー	48V / プログラミング可能パラメーターアプリ使用: スピード、パワー、スロットルレスポンス、 モーター保持(復旧)
モーター	最大出力 840W
ホイール	フロント: 10" x 1.60" リア: 10" x 1.60"
タイヤ	フロント: ミシュラン シティグリップ 90/90-10 リア: ミシュラン シティグリップ 90/90-10
装備重量(バッテリー含む)	33Kg
ライダー体重制限	30Kg
充電器	54.6V / 2A (充電時間≈4時間/満充電時)
その他の機能	出力制御ペアレンタルコントロール(Bluetooth)アプリ スピード/パワー・リミッター 2段階式シート高調節

## 7.6. スーパーモトード 2



(\*) おおよその寸法です。車両によって多少の違いが生じる場合がございます。

シャシー	チューブ - スチール製
フロントサスペンション	油圧式フォーク 95mm ストローク
リアサスペンション	オイル式ショックアブソーバー プリロード調整 125mm ストローク
ブレーキ	フロント: 160 mm 油圧式 リア: 160 mm 油圧式
バッテリー	交換可能タイプ 46.8V / 8.8Ah / 412Wh / 13S 4P
モーターコントローラー	48V / プログラミング可能パラメーターアプリ使用: スピード、パワー、スロットルレスポンス、 モーター保持(復旧)
モーター	最大出力 1500W
ホイール	フロント: 12" x 1.85" リア: 12" x 1.85"
タイヤ	フロント: ミシュラン シティグリップ 90/90-12 リア: ミシュラン シティグリップ 90/90-12
装備重量(バッテリー含む)	37Kg
ライダー体重制限	40Kg
充電器	54.6V / 2A (充電時間~5時間/満充電時)
その他の機能	出力制御ペアレンタルコントロール(Bluetooth)アプリ スピード/パワー・リミッター



## 8. メンテナンスと使用方法

車両に、不適切な使用方法を強いるようなことはしないでください。  
不必要に、車両に打撃や振動などの衝撃を与えないで下さい。  
ブレーキをかけながら、無理にアクセルを開けることはしないでください。



バッテリーにつながっている、電装部品などの修理・取り扱いを、正規に認可されている取り扱い者以外の第三者が行うことは禁じられています。

バッテリーの修理・取り扱いを、正規に認可されている取り扱い者以外が行うことは、禁じられています。



車両の電気系統に、直接、水や泥、または同等のものがかからないようにしてください。  
もし、予期せず水などが車両の電気系統にかかってしまった場合は、接続を切り離してから自然に乾燥するのを待って使用するようしてください。

この車両の外気温適応温度範囲は、-15～50℃です。この範囲以外の外気温下で使用した場合、いくつかのコンポーネントが修繕不可能なダメージを受ける可能性があります。

### 8.1. シャシー

トロット・キッズの2種類のシリーズ(1/ONE と /2TWO)には、ライダー達の年齢に合うように、2タイプの異なるシャシーが使用されています。どちらのシャシーも堅牢で軽いスチール製で作られており、環境の変化に対応してより長くご利用いただけるように、特殊なパウダーコーティングが施されています。

このシャシーに特別なメンテナンスは必要ありませんが、アクシデントや転倒が起こった場合は、ひび割れや破損、変形などがなくすぐに良く確認してください。



もし、ダメージや劣化などの兆候が見られたら、速やかに修理・交換を行ってください。

### 8.2. スイングアーム

シャシーと同様、スイングアームもまた特殊なパウダーコーティングが施されています。

モデル1シリーズのスイングアームは、2段階でリアショックアブソーバーへの位置を変えることができる。このクリアランスのおかげで、ライダーの体重によってシート高を変えることが可能となっている。

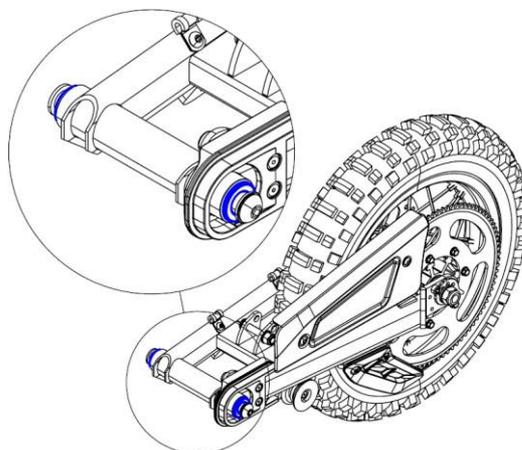
アクシデントや転倒があった場合は、直ちにひび割れや破損、変形等がないか点検をおこなってください。



シート高の調整は、車両の構造にかかわることであり、安全性能にもかかわってくる非常に繊細な作業です。シート高の変更を行う際は、必ずお近くのモータリスト e-ディーラーにお尋ねください。

## 8.2.1. スイングアームのメンテナンス

スイングアームのブロンズ(青銅)の車軸ブッシュ(穴の内側にはめ込む筒状の部品)は、定期的に点検してください。ブッシュと車軸のクリアランス(隙間)も定期的に確認しましょう。この作業を行う際はリアタイヤを持ち上げ、スイングアームを上下に動かして確認します。クリアランス(隙間)の無い状態が理想的です。



スイングアームやブッシュに損傷や劣化が見られる場合は、必ず修理・交換してください。このメンテナンスは非常に繊細で、車両の安全構造に関わる部分でもあります。行う際は、必ずお近くのモータリスト e-ディーラーにて行ってください。

## 8.3. リチウムイオンバッテリー/アキュムレータ(蓄圧器)

キッズ・ONEには、電圧46.8V、容量6.6Ah(エネルギー309Wh)でモーターコントローラーを稼働させるリチウムイオンバッテリーが搭載されており、キッズ・TWOには、電圧46.8V、容量8.8Ah(エネルギー412Wh)が搭載されています。

このタイプのバッテリーは、俗に言う“メモリー効果(継ぎ足し充電を繰り返し行うことで起こる、放電中一時的に電圧が低下する現象)”は起こりません。



トロット・キッズのバッテリーを、本来の目的以外に使用しないでください。キッズ・ONEとTWOの間で、交換可能なものではありませんのでご注意ください。

バッテリーは高密度エネルギーのリチウムイオン電池で構成されています。いかなる場合でも、内部に直接手を触れないようにしてください。

バッテリーを含め車両の他の部分においても、修理・交換が必要な際は正式な認可を受けたモータリスト e-ディーラーにて行ってください。

車両の取り回しや運送の際は、出来るだけ強い衝撃を与えないようにして下さい。



バッテリーやコネクタに劣化や損傷が見られた場合は、お近くのモータリスト e-ディーラーにお尋ねください。バッテリーやコネクタをはじめ、コンパートメント(収納部)の劣化や損傷につきましても、速やかにモータリスト e-ディーラーにて修理・交換を行っていただきますようお願いいたします。



バッテリーの能力が衰えてきてから、満充電のあとに長期間放置することのないようにしてください。「車両の保管」の章をご参照ください。

車両の電源がオンになっているときに、決してバッテリーの接続・離接続を行わないでください。バッテリーの接続・離接続を行う際は、必ずスタートボタンとキースイッチはオフの状態で行ってください。

初めて車両を使用する前には、必ずバッテリーを満充電にしてから使用を開始してください。

以降、車両を使用するごとに満充電の状態で使用を開始することをお勧めします。バッテリーの寿命を長持ちさせるためにも、充電をする際は中途半端な充電ではなく、常に満充電するように心がけましょう。

バッテリーはその特性により、常に少しずつ放電しています。長期間車両を使用しないときは、「車両の保管」の章を参照いただいて、定期的に充電を行ってください。

このバッテリーには、異常な可動状況に陥った時、自動的に自信を保護する機能が付いています。もしバッテリーが正常に機能しなくなった場合は、お近くのモータリスト e-ディーラーにお問い合わせください。

## 8.3.1. バッテリーの充電



製造元あるいは、モータリスト e-ディーラーから直接仕入れられた充電器以外の使用を禁止します。

充電器を覆ったり、濡らしたりすることのないようにしてください。



連続的に充電すると、充電器は熱を帯びて熱くなります。バッテリーの充電後は不用意にお手を触れないように気を付けてください。

バッテリーの充電中は、できるだけお子様が近づかないようにご配慮願います。

感電のリスクを避けるために、バッテリーは充電器につなげたまま放置しないようにしてください。バッテリーの充電は、気温0°C から40°C、湿度75%以下の環境で行ってください。

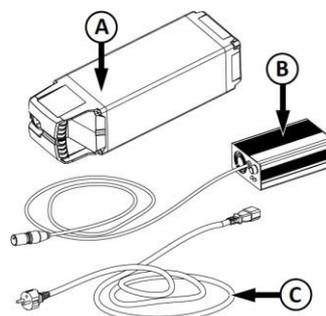


充電器の電源を外すときは、ケーブルを引っ張って抜き取らないでください：コネクターの端のしっかりした部分をつかんで丁寧に外しましょう。

充電器のコネクタを接続するときも、必要以上に無理な力を入れしないでください。

### 充電に必要な機器

- バッテリー (A)
- 充電器 (B)
- 本体接続用の充電ケーブル (C)



## バッテリーを車両から外して充電する

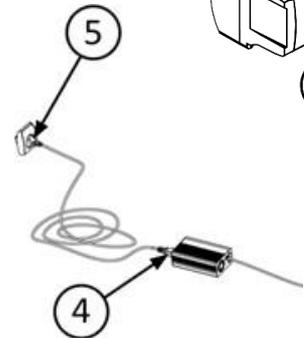
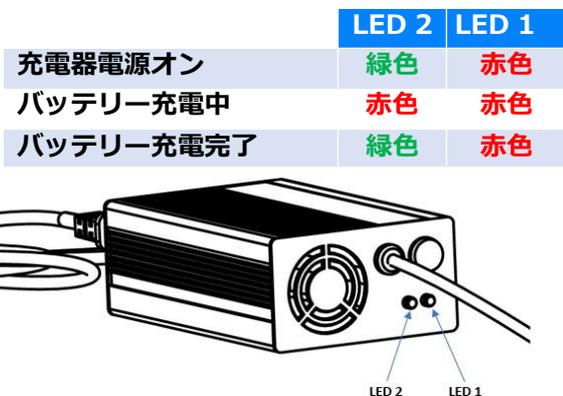
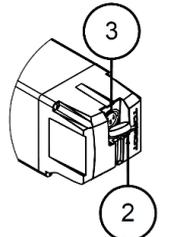
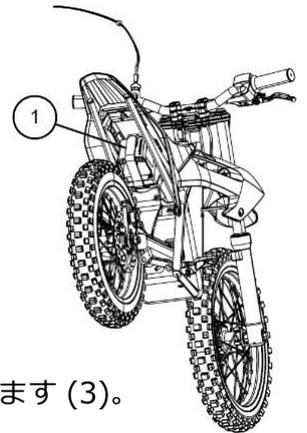
トロット・キッズの利点の一つが、バッテリーを簡単に取り外し、どこでも充電することが出来ることです。さらに、オプションでもう一つバッテリーを揃えることで、充電が底をついた時に待つことなく付け替えてそのまま乗り続けることができます。



オートバイのスイッチがオンのときには、絶対にバッテリーの取り外しを行わないでください。

以下の手順で、バッテリーを取り外し充電してください：

1. 「車両を停止させる」の章を参照して、スイッチをオフにしてください。
2. バッテリーを支えているベルクロストラップを緩めます (1)。
3. 車両の後ろからバッテリーを引いて取り外します。バッテリーを取り扱う時は十分に注意を払って行ってください。かなり重みがありますので、取り外す際に車両にぶつけないように気を付けましょう。
4. バッテリーコネクタから、保護ゴムキャップを外します (2)。
5. 充電ケーブルを、3ヶ所突起のあるコネクタでバッテリーにつなぎます (3)。
6. ケーブル (4) を充電器につなぎ、一方の端を家のコンセント(100-240V)に差し込みます (5)。LED 2 が赤く点灯し、充電中であることを示します。



充電が完了すると、LED 2 が緑色に変わります。キッズ・ONEのバッテリーは、満充電までおよそ 4 時間、キッズ・TWOはおよそ 5.5 時間かかります。バッテリーの寿命をより長く保つためにも、中途半端な充電はせずに、LED 2 が緑色に変わるまで待ちましょう！バッテリー充電後は、下記の手順で車両に取り付けてください：

1. 充電器をソケットから外します (5) そのあとでバッテリーを充電器から外します (3)、バッテリーコネクタの保護ゴムキャップを合わせます (2)。
2. オートバイのスイッチがオフになっていることを確認します。「車両を停止させる」の章を参照してください。
3. バッテリーコンパートメントと、コネクタ、バッテリーともに完全に乾いた状態であるか確認します。
4. オートバイの後ろからバッテリーをスライドさせて取り付けます。正しい方向で、正確に差し込むようにしてください。バッテリーはかなりの重みがありますので、車両にぶつけないように、取り扱い時は細心の注意を払いましょう。
5. ベルクロストラップで、バッテリーをしっかりと固定します (1)。



泥などが付着するのを防ぐために、バッテリーの充電ポートは常に保護ゴムキャップで覆うようにしましょう。

### バッテリーを車両に搭載した状態での充電

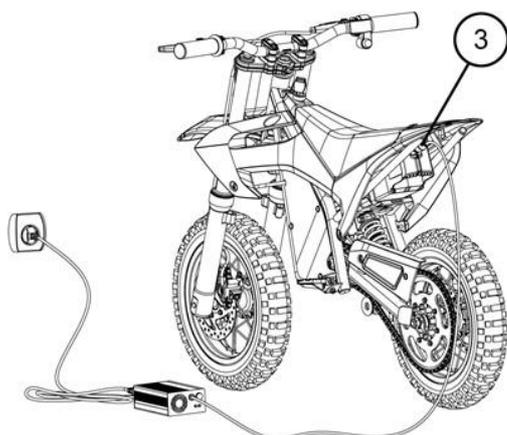
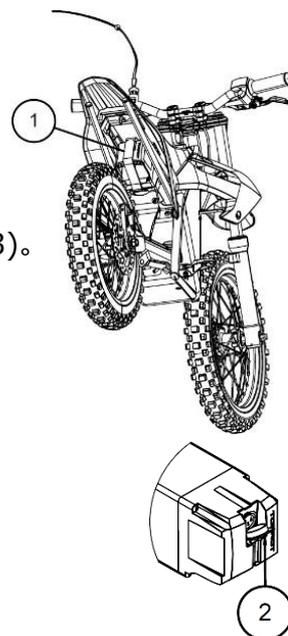


安全のためにも、充電を行う時はバッテリーを車両から取り外すことをお勧めしますが、もし搭載したまま充電を行う時は、必ずキースイッチをオフにして車両から取り外してください。

充電する行程を通して最初から最後まで、スイッチは必ずオフにして行ってください。

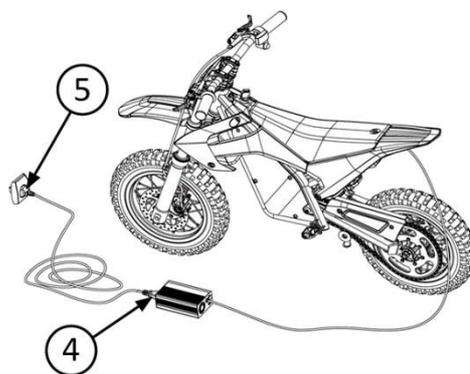
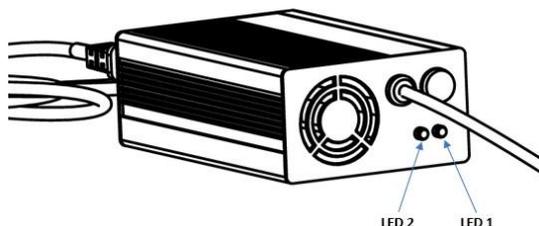
充電の仕方は、下記の手順に従ってください：

1. 「車両を停止させる」の章を参照して、オートバイのスイッチがオフになっていることを確認してください。さらに、キーは必ず取り外しておいてください。
2. バッテリーを支えているベルクロストラップを緩めます (1)、そして、バッテリーコネクタから保護ゴムキャップを外します (2)。
3. 充電ケーブルを3ヶ所突起のコネクタでバッテリーにつなぎます (3)。



4. ケーブル (4) を充電器につなぎ、一方の端を100-240V 50-60Hz のコンセントに差し込みます (5)。充電器のLED 2 が赤色に変わり、充電中であることを示します。

	LED 2	LED 1
充電器電源オン	緑色	赤色
バッテリー充電中	赤色	赤色
バッテリー充電完了	緑色	赤色



バッテリーの充電が完了すると LED 2 が緑色に変わります。満充電になるまで KIDS ONE モデルではおおよそ 4 時間、KIDS TWO モデルでは 5.5 時間を要します。

バッテリー充電完了後は、以下の手順に従ってください:

1. 差し込み口からケーブルを外して (5) 充電器を離線してから、バッテリーのケーブルを外してください (3)。
2. バッテリーコネクターの保護ゴムキャップを合わせて再び被せます (2)。
3. ベルクロストラップで、しっかりとバッテリーを再固定するのを忘れないでください (1)。

以上の作業終了後は、再びKIDS バイクをお楽しみいただけます。



泥汚れの侵入や付着を防ぐために、バッテリーの充電ポート(充電口)には必ず保護ゴムキャップの装着を忘れないようにしてください。

## 8.4. モーター

KIDS のオートバイには、KIDS ONE が840W、KIDS TWO が1500Wのブラシレス・モーター(電子回路によるメンテナンスフリーのモーター)が搭載されています。Bluetoothアプリによって、車両のパワー・コントロールやスロットル・レスポンスを変更することが可能です。



モーターが稼働しているときは、チェーンやスプロケット、その他の車両の可動部分には絶対に手を触れないでください。

使用中はモーターが非常に熱くなります。車両使用直後は、絶対にモーター部分にはお手を触れないでください。

### 8.4.1. モーターのメンテナンス

モーターは内燃機関(エンジン)に比べ、メンテナンスの必要性が非常に低い動力ですが、ベアリングの状態点検は定期的に行うことをお勧めします。ベアリング点検を行う時は、リアタイヤを持ち上げて地面から離し、手でリアタイヤを回転させます。この時、モーターから異常な音(ノイズなど)がしなければ正常な状態です。



ベアリングの交換は非常に繊細な作業です。ベアリングの交換を行う際は、お近くのモーターリスト e-ディーラーにお尋ねくださいますようお願いいたします。

## 8.5. ブレーキ

KIDS のオートバイには、フロント・リアタイヤともに、油圧式のディスク・ブレーキ・システムが装備されています。



長時間、連続して使用すると、ブレーキが熱くなります。使用直後は、絶対にブレーキ部分にお手を触れないようにしてください。

車両を使用する前には常に、バイクを手で動かしながら右 (1) と左 (2) のブレーキレバーを引き、フロント・リアタイヤのブレーキが正常に作動するか確認してください。



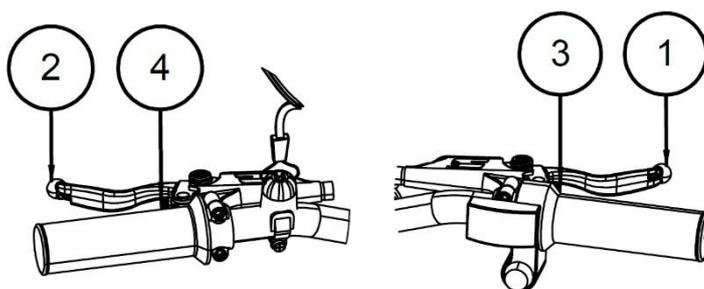
ブレーキ・ディスクやパッドに、オイルやグリース、その他のケミカル類などが付着、または汚れなどがあつた場合は速やかに交換してください。



ブレーキ・システムに破損や損傷が見つかった場合は、速やかに交換してください。

ブレーキ・システムの交換は非常に繊細な作業です。交換時における不備は、そのまま車両の安全性もおびやかすこととなります。交換が必要となった場合は、必ずお近くのモータリスト e-ディーラーにて行っていただきますようお願いいたします。

ブレーキレバーがライダーに近すぎたり離れすぎたりしていたら、レバーの付け根にあるレギュレーター (3 と 4) を回して、遠近の調節をすることができます。



## 8.5.1. ブレーキのメンテナンス

ブレーキ・パッドは定期的に点検し、使用可能部分が2mm以下になっている場合は速やかに交換してください。

ブレーキ性能を効果的に保つためにも、定期的なディスクのクリーニングを行ってください。石鹸やグリース・リムーバー、その他ケミカル類は決して使用しないでください。

ブレーキレバーの握り幅が多すぎる場合は、油圧式ブレーキ回路の液漏れか、液質変性が疑われます。この場合は必ずDOT 3 または DOT 4 の新しい液と交換を行ってください。



ブレーキ・システムの各部位は、必ず定期的に点検を行ってください。ブレーキ・ディスク、キャリパー、ホース、ピストン、レバーやブラケットなど、少しでも損傷や劣化が見られる場合は交換を行いましょう。

このメンテナンスは非常に繊細で安全性に深く関わってくる作業です。交換を行う際は、必ずお近くのモータリスト e-ディーラーにお任せください。

## 8.6. フォークとステアリング

KIDS オートバイのフォークは、インナー・チューブとアウター・チューブから成る油圧式フォークです。これらは、各モデルのために特別にデザインされています。ライダー達が各モデルならではの面白さを味わえるように、それぞれのモデルの特性に合わせて構成されています。



車両の使用中は、フォークが熱くなることがありますので、使用直後はフォーク周辺に触らないようご注意ください。

### 8.6.1. フォークとステアリングのメンテナンス

フォークを良好な状態に保つためにも、衝撃の吸収力に異常を感じた時はもちろんのこと、車両の使用時間60時間ごとに、フォークオイルの交換を行ってください。粘度指定 SAE 10 のフォーク・オイル 100mlを、それぞれのフォークに使用します。

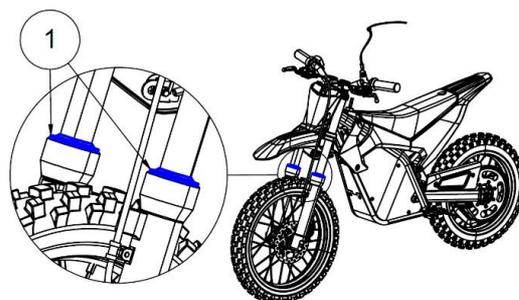
ハンドルバーは、定期的に左右に動かして点検を行います。この点検を行う時は、フロントタイヤを地面から持ち上げて行いましょう。ハンドルバーを左右に大きく切って様子を見ます。正常な状態であれば、違和感なくスムーズに切れるはずです。

ステアリング・ベアリングの遊びも定期的に点検します。この点検の際も、フロントタイヤを地面から持ち上げて行います。フロントタイヤを持ち上げたらハンドルを真っすぐにし、フォークを後方に押してみます。この時、ガタつきや遊びの無い状態が正常です。



フロント・サスペンションの各部分は、定期的に点検を行いましょう。トリプル・クランプやステアリング・ベアリングなどに損傷や劣化が見られた場合は、速やかに交換を行ってください。これらの作業は非常に繊細な作業で、走行安全性能にも関係してきますので、交換については、必ずお近くのモータリスト e-ディーラーにて行っていただきますようお願いいたします。

車両をご使用になる前は常に、フォーク・ダスト・シール (1) を綺麗にしてからご使用ください。



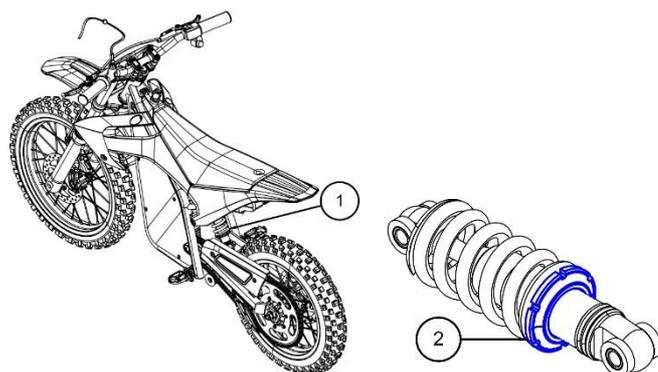
### 8.7. リア・ショック・アブソーバー

KIDS ONE はガス式ショック・アブソーバーが、KIDS TWO にはオイル式ショック・アブソーバーが搭載されています。どちらもライダー達が最良の乗り味を楽しめるように組まれたものです。



使用中は、ショック・アブソーバーが熱くなることがありますので、使用直後は絶対にショック・アブソーバーには触らないようにしてください。

ライダーの体重によって、ショック・アブソーバーのプリロード値の調整ができます (1)。プリロード調整は、ナット (2) を時計回りに回すと強まり(硬くなる)、半時計回りに回すと弱まり(柔らかくなる)ます。プリロードを強めるとスプリングが縮まり、より硬い乗り心地になります。



硬性の異なるスプリングについては、お近くのモータリスト e-ディーラーにお問い合わせください:

-KIDS ONE: 550lb/in (ref. BE30010TT-CKJ-1) または 750lb/in (ref. BE30011TT-CKJ-1)

-KIDS TWO: 450lb/in (ref. BE30010TT-CKK-1) または 650lb/in (ref. BE30011TT-CKK-1)

## 8.7.1. リア・ショック・アブソーバーのメンテナンス



リア・ショック・アブソーバー、またそのスプリングは定期的に点検を行ってください。それらに損傷や劣化が見られる場合は、交換が必要です。

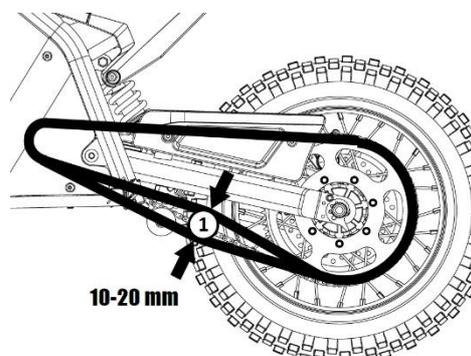
交換作業は非常に繊細さを伴い、車両の安全性にも大きく関わってきます。交換を行う際は、必ずお近くのモータリスト e-ディーラーにお任せください。

## 8.8. トランスミッション

適切な潤滑と調整を行うことが、チェーンの寿命を延ばすことにつながります。メンテナンスが行き届かないと、チェーンやリア・スプロケット、ドライブ・スプロケットなどの早期の摩耗や破損、損傷が起こる原因となります。

チェーンのテンション(張り具合)は、ライダーの体重に合わせて調整します。適切な状態に調整するには、その車両を使用するライダーがオートバイに座って行います。

車両を使用する前はいつも、必ずチェーンの下方方向の中心部分の弛み具合を確認します (1)。下図に示されているように、チェーンの弛みは、垂直に10mm~20mm上下するくらいが理想的です。



手でリアタイヤを回転させ、何度か異なる場所で回転を止め、その度に弛みを確認します。どの場所で回転を止めてもチェーンの弛みが同様であることが適切です。



タイヤを回転させているときは、チェーンやリア・スプロケット、ドライブ・スプロケットやその他の可動部分には絶対に指などを挟まないように気をつけてください。



### 8.8.1. トランスミッションのメンテナンス

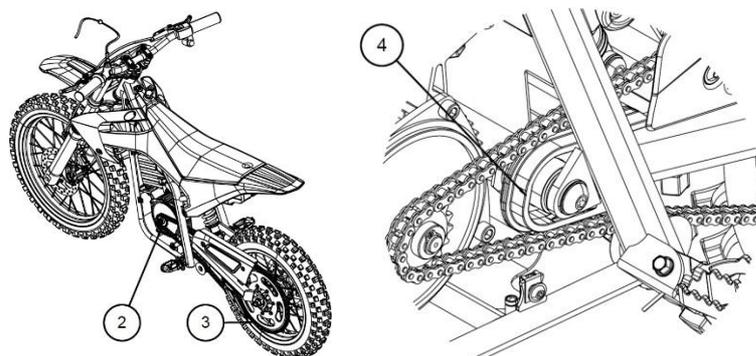
チェーンは定期的に清掃・潤滑を行ってください。潤滑を行う前に、ブレーキ・システムに影響しないように保護してから行うようにしましょう。



チェーンの弛みは定期的に確認して、適切な範囲でない場合は調整を行いましょう。

チェーン (1)、ドライブ・スプロケット (2)、リア・スプロケット (3)、チェーン・スライダ (4)が損傷、または劣化していたら速やかに交換を行います。

これらの作業は非常に繊細で、車両の安全性にも深く関係してきますので、交換を行う際には必ずお近くのモータリスト e-ディーラーにお任せくださいますようお願いいたします。



### 8.9. ホイールリムとタイヤ

タイヤは、唯一車両と地面をつないでいる部分です。どんな状況下でバイクに乗ろうとも、ライディングの安全性はこの小さな接地面にかかっているとんでもありません。従って、タイヤの空気圧を適切に調整し、常にベストな状態に保つことは非常に大切なことです。

使用頻度が低かったり、未使用のタイヤだとしても、経年劣化は起こります。タイヤまたはタイヤ側面のひび、タイヤの変形などは明らかに劣化のサインです。

スペアタイヤやホイールリムは必ずサイズの合うものでなければなりません。下記のサイズを参照してください。タイヤ交換に不備があると、車両の安全性に影響がでます。交換は必ず、モータリスト e-ディーラーにご相談ください。

モデル	タイヤ	タイヤサイズ
ONE	トライアル	フロント 2.50-10 33J
		リア 2.50-10 33J
	モトクロス	フロント 60/100 R10 33J
		リア 60/100 R10 33J
スーパーモタード	フロント 90/90 R10 50J	
	リア 90/90 R10 50J	
TWO	トライアル	フロント 2.50-12 38J
		リア 2.50-12 38J
	モトクロス	フロント 60/100 R14 29M
		リア 2.50-12 36J
	スーパーモタード	フロント 90/90 R12 54P
		リア 90/90 R12 54P

各モデルの推奨タイヤ空気圧値:

	フロントタイヤ	リアタイヤ
トライアル	0.9	0.6-0.8
モトクロス	1.0	1.2
スーパーモタード	1.2	1.4

(\*) 単位 : bar



素性の知れない中古タイヤは使用しないでください。  
タイヤがパンクしたら、直ちに走行を止めてください。止まる際は、転倒を防ぐために出来るだけ急なブレーキングは避けましょう。  
タイヤの修理は必ずプロに任せてください。  
走行前にはいつも、必ずホイールリムとタイヤの状態を確認するようにしましょう。同様に、前後車輪のガタつきがないか確認します。

### 8.9.1. ホイールリムとタイヤのメンテナンス



タイヤ空気圧は定期的に点検してください。空気圧の点検はタイヤが冷えているときに行います。車両使用直後の、タイヤ温度が高いときは正しい空気圧が測れませんので行わないでください。  
スポークのテンション(張り具合)についても、定期的に点検を行いましょう。  
タイヤ、ホイールリム、スポークやベアリングに損傷や劣化が見られる場合は、速やかに交換を行ってください。  
交換作業は非常に繊細で、車両の安全性能にも大きく関わってきますので、必ずお近くのモータリスト e-ディーラーにて行いましょう。

## 8.10. サイドスタンド

このオートバイには、停車中に車両を支えるサイドスタンドが付いています。



負荷がかかり破損の恐れがありますので、サイドスタンドを立てて停車させた車両に座ったり、車両の上で休んだりしないでください。



サイドスタンドを出したまま、車両を発進させたり動かすことはしないでください。  
オートバイのスイッチをオンにする前に、サイドスタンドは必ず外して収納してください。  
サイドスタンドは、特別なメンテナンスの必要はありませんが、もし損傷や劣化が見られた場合は速やかに交換してください。

車両の洗車後は、サイドスタンドのジョイント部分の潤滑をしましょう。

## 8.11. パワーリミッター

このオートバイには、車両の最高スピードやパワーを制限できるパワーリミッターが搭載されています。ライダーがオートバイを乗りこなせるようになるまで、この機能を使用すると良いでしょう。



お子様のレベルや技術、経験値や成熟度に合わせてスピードやパワーをコントロールすることは、ライダー(お子様)の安全を守るためにも非常に大切なことです。

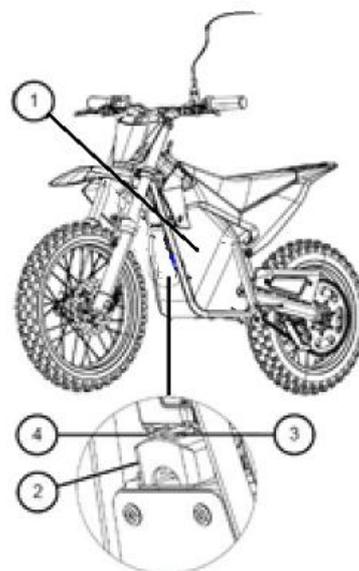
安全にお乗りいただくためにも下記の事項に注意して、知識と経験のある大人が責任をもってリミッターのコントロールを行ってください:

- 最高スピードを設定しても、路面の状況によりパワーが軽減される場合があります: 柔らかい土の路面では、硬い路面に比べより多くのパワーを必要とします。
- 必要以上に制限をかけすぎると、坂を上ったり障害物を越える際に車両の安定性を欠く恐れがあります。

## 8.11.1. パワーリミッター動作手順

パワーリミッターの動作手順については、必ず以下の手順に従うようお願いいたします:

1. パワーリミッターは車両の下部にあります。初めに車両下部サイドの、三角形のカバーのネジを外してからカバーを取り去ります。
2. カバーを取り外した下に、パワーリミッターがあります。リミッターは2段階切り替えになっています:
  - “50%” の位置では、最大50%パワーで、車両の最高スピードを 16 km/h 以下に抑えることができます。Bluetoothアプリによってスマートフォンで設定が可能です(「Bluetoothアプリでの接続」の章を参照)。
  - “100%” の位置では、車両のパワーや最高スピードをスマートフォン上のパラメーターで自由に設定することができ(「Bluetoothアプリでの接続」の章を参照)、ライダーのライディング・スキルに合わせて変えることが可能です。
1. パワーリミッターの動作変更が終了したら、再びサイドカバーを被せてネジでしっかりと止めます。



## 8.12. シャットダウン・デバイス

車両には、緊急時に動力がシャットダウンされる安全機能が付いています。

転倒した際ライダーの身体が車両から離れ(手がハンドルから離れ)、手首にかけたストラップの先に付いている磁石が装置から外れることで、強制的に動力がシャットダウンされライダーが怪我を負うのを防ぎます。

この機能を作動させるために、ライダーは必ず手首にデバイスのストラップをかけて乗車してください。すぐに外れてしまうようなかけ方をしたり、逆に手首を締めすぎるようなかけ方はしないようにしましょう。



乗車前には常に、シャットダウン・デバイスのストラップが正しく装着されているか必ず確認しましょう。

## 8.13. スロットルと、バッテリー残量インジケータ

バッテリー残量インジケータは、スロットルの部分(付け根)にあります。



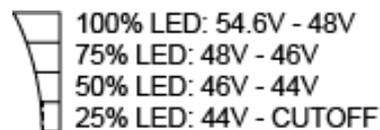
使用前は常に、スロットルの戻りを必ず確認してください。スロットルを回し、離れたときに、すぐに元の位置に戻るか確認します。

もしこの時にスロットルがすぐに戻らなかったり、他の何らかの異常がみられる場合は、修理・交換が必要です。

バッテリー残量の見方は、右の図のように示されます：

残量は同時にバッテリーのパワー(ボルテージ)も指し示しています。

パワー残量を見ながら、おおよその乗車可能時間を計ったり、乗り方(ハードなライディングは可能か)を調節することが可能です。





## 9. メンテナンス・スケジュール

各部	確認/点検	調整	修理/交換	清掃	グリス/潤滑
シャシー	毎乗車前	-	損傷時	-	-
スイングアーム	毎乗車前	-	損傷時	-	-
バッテリー	毎月	-	損傷時	毎乗車後	-
ブレーキ	毎乗車前	必要時	損傷時	毎乗車後	-
フォーク	毎乗車前	-	-	毎乗車後	-
ステアリング	毎乗車前		損傷時	-	
リア・ ショック・ アブソーバー	毎年	-	2年ごと または 損傷時	-	-
トランスミッション	毎乗車前	-	損傷時	乗車3回ごと	清掃時毎回
ホイールリム タイヤ	毎乗車前	-	損傷時	乗車3回ごと	-
サイドスタンド	毎乗車前	-	損傷時	乗車3回ごと	清掃時毎回
モーターベアリング	使用100時間ごと	-	損傷時	-	-

## 10. 締結

以下は、車両の最も重要な部分の締結です：

タイプ	ロケーション	サイズ	締結 (Nm)
ナット	ステアリングアクスル - シャシー	W1" 24G	30
スクリュー	ブレーキディスク - ホイール	M6	12*
スクリュー	リアスプロケット - リアホイール	M6	12*
スクリュー/ナット	モーター - シャシー	M8	20
スクリュー	コントローラー - シャシー	M4	5
スクリュー	スイングアーム - シャシー	M8	30**
スクリュー	Bluetooth - シャシー	M4	5
スクリュー	ハンドルバー - バーマウント	M6	10
スクリュー	フロントブレーキキャリパーブラケット - フォーク	M6	10
スクリュー	フロントブレーキキャリパー	M6	10
スクリュー/ナット	トップブラケットショックアブソーバー	M8	20
スクリュー/ナット	ボトムブラケットショックアブソーバー	M8	20
スクリュー	バイクスタンド	M8	20**
スクリュー	フロントホイールアクスル	M12	40
ナット	リアホイールアクスル	M12	40
スクリュー	ブレーキレバー - ハンドルバー	M5	8
スクリュー	スロットル - ハンドルバー	M4	8
スクリュー	ラテラルプラスチックブラケット - シャシー	M5	8
スクリュー	プラスチック - シャシー	M6	5
スクリュー	シート	M6	10
スクリュー	フットペグ - シャシー	M6	10
スクリュー	トリプルクランプ	M6	10
ナット	フォークボトム	M6	12

\* 低強度のスレッドロッカー(ネジロック剤)使用。

\*\* 中強度のスレッドロッカー(ネジロック剤)使用。



規定の締結を必ず守ってください。



## 11. 車両の発進と停止

### 11.1. 乗車前点検とケア

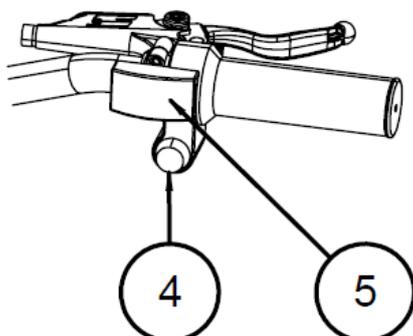
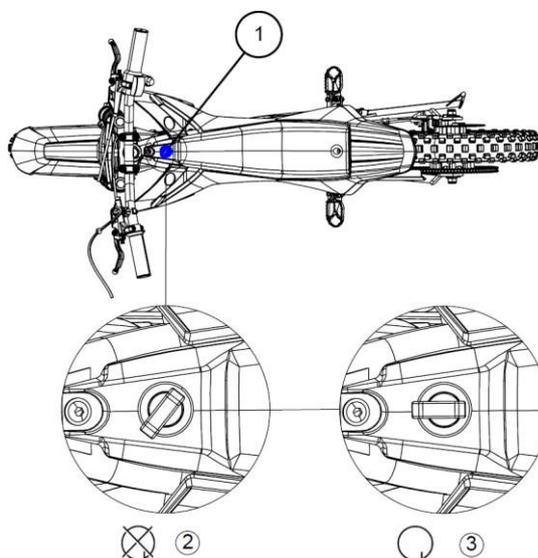
ご乗車になる前には常に、以下の点検を行ってください。なお、その際は必ず車両のスイッチ(電源)を切った状態で行ってください:

- 車両の電源を切った状態で、スロットルの戻り(回して離すとすぐに戻るか)を点検します(「スロットルとバッテリー残量インジケーター」の章を参照)。
- バッテリーに凹みやひび、損傷や液漏れはないか点検します。
- バッテリーは正しく搭載されているか点検します。
- バッテリーコネクタや、コンパートメント(バッテリーボックス)が濡れていないか点検します。
- フロント、リアのブレーキは正しく動作しているか点検します(「ブレーキ」の章を参照)。
- ハンドルバーを動かして、異常や異物の挟まりなどないか確認します(「フォークとステアリング」の章を参照)。
- ホイールリムとタイヤの状態を点検します(「ホイールリムとタイヤ」の章を参照)。
- 車両のトランスミッションを点検します(「トランスミッション」の章を参照)。
- フォークのダスト・シールを点検します(「フォークとステアリング」の章を参照)。

### 11.2. 車両を発進させる

オートバイを発進させるには、以下の手順に従ってください:

1. キースイッチ (1) がオフであることを確認します (2)。それから右ハンドルバーにあるスタートボタン (4) もオフであることを確認します。バッテリーをバッテリーコンパートメントに差し込み、しっかりとセットしてベルクローで締めます(「バッテリーを車両から外して充電する」の章を参照)。
2. シャットダウンデバイスのストラップを、正しくライダーの手首に装着します。
3. キースイッチをオンの位置にします (3)。
4. スロットルの下のスタートボタン (4) をオンにします。ボタンは押し下げて「カチッ」という音がするとオンになり電源が入り、もう一度押してボタンが上がると電源がオフになります。
5. バッテリー残量インジケーターが点灯します (5)。





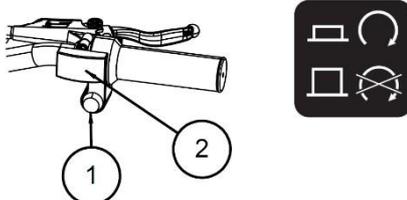
これでトロット・キッズを使用することができますが、必ずサイドスタンドを忘れずに収納してから発進してください。

乗車中の怪我を防ぐために、キースイッチがオンの位置にあるときは(3)、キーを抜き取っておいてください。

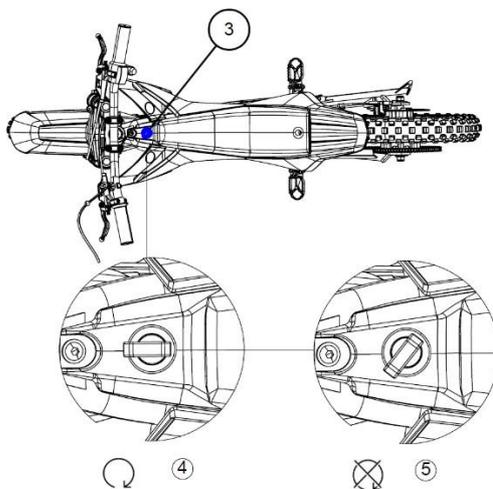
## 11.3. 車両を停止させる

オートバイを停止させるには、以下の手順に従ってください：

1. スロットル下のスタートボタン (1) を押し上げて、オフの状態にします。ボタンの押し下げ押し上げで、オンとオフが切り替わります。オフにすると、連動してバッテリー残量インジケータも消灯します (2)。



2. オートバイの前部にあるキースイッチ (3) に、キーを差し込んでオンの位置 (4) から、オフの位置 (5) に回すと、「カチッ」という音がして電源が切れます。



転倒を防止するためにも、必ずサイドスタンドを立てて車両を安定させましょう。サイドスタンドを立てて車両を置く場所は、平坦で硬い路面を選んで静置させるようにしてください。



この操作手順は絶対忘れずに行うようにしてください。この通りに行わないと、バッテリー電力が消費され続け、自然放電されてしまうので気を付けましょう。

自然放電を最小限に抑えるためにも、車両使用时以外バッテリーは出来るだけ外しておきましょう。

トロット・キッズに乗らないときは、スタートボタン (1) は常にオフの状態、バッテリーが外してあることを確認してください。

車両盗難を防ぐために、無防備な場所に保管したり無施錠で放置するようなことはしないでください。

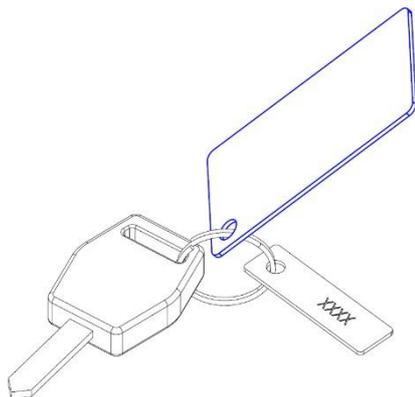


## 12. Bluetooth アプリのペアリング

トロット・キッズには、Bluetoothアプリを利用してスマートフォンから、オートバイの設定を操作できる機能が備わっています。これは、緊急時に保護者の方が、リモートでオートバイのスイッチをオフにしたり、またオンにしたり出来る機能でもあります(ペアレンタル・コントロール)。

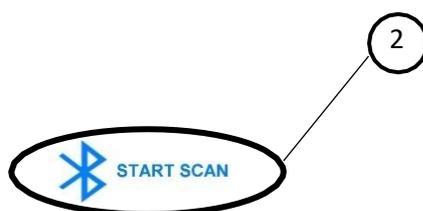
アプリケーション名は「TORROT KIDS」と言い、Google Play(グーグル・プレイ)またはApp Store(アプリ・ストア)からダウンロードすることができます。

オートバイのキーに付いているラベルに、Bluetooth接続に必要なDEVICE IDと、PINコードが記載されています。

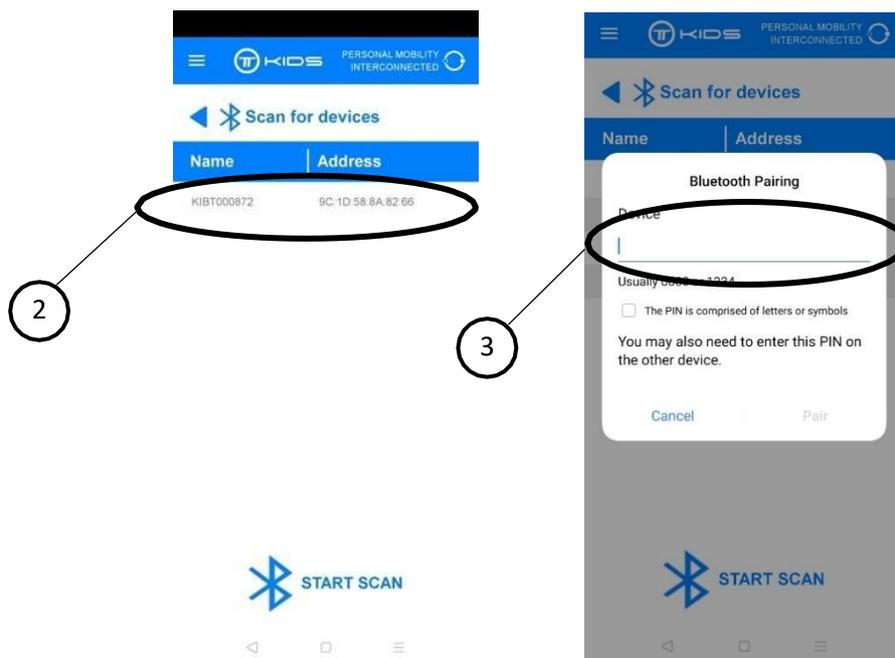


### 12.1. ペアリングの仕方

1. アプリと接続するために、オートバイのスイッチはオン(電源オン)にします。
2. スマートフォンのBluetooth機能をオンにしてください。
3. 次に、スマートフォンにインストールしたアプリを開きます。初めての時は、自動的にスキャンングのダイアログ・ボックスが開きます(以降は手動で開きます)。“START SCAN”(1)を押すと、車両のBluetoothデバイス(DEVICE ID)のサーチが開始されます。



4. サーチによってIDが検出されたら、ラベル記載の(お手持ちの車両の)IDを選択します(2)、それから PINコード(パスワード)(3)を入力します。



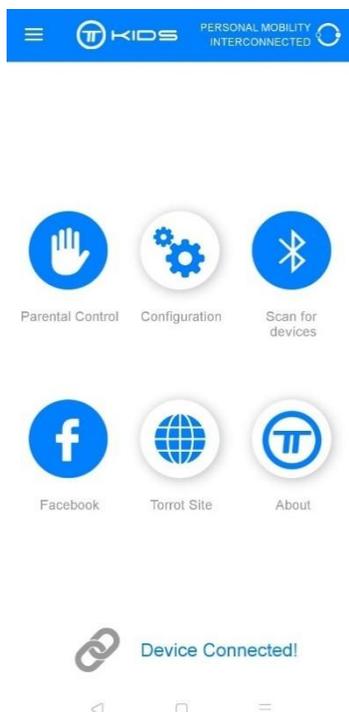
5. 一度ペアリングされると、次回からはこれらのステップを行なわなくても自動的に接続され、直接メインメニューの操作を行うことができます。スマートフォンとBluetoothデバイスのペアリングが完了すると、“Device Connected!”(接続されています)のメッセージがメインメニューの下に表示されます(4)。



6. しばらく待ってもメッセージが表示されないときは、メニューの“Scan for devices”(デバイスをスキャンする)を選択して引き続きペアリングを行ってください。

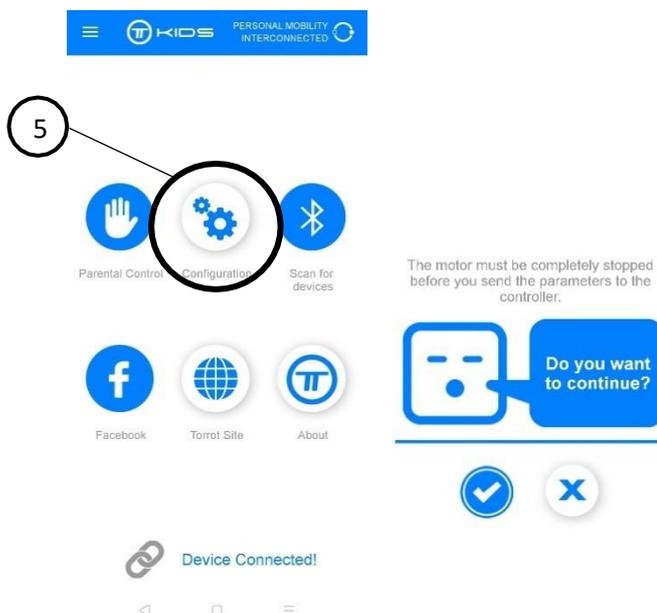


7. スマートフォンと車両のBluetoothデバイスのペアリングが終了すると、スマートフォンの画面に TORROT KIDS アプリケーションのメインメニューが現れます。このメニュー画面上でペアレンタル・コントロールやオートバイの設定、デバイスのスキャンなど、お好みの操作を選択して行うことができます。

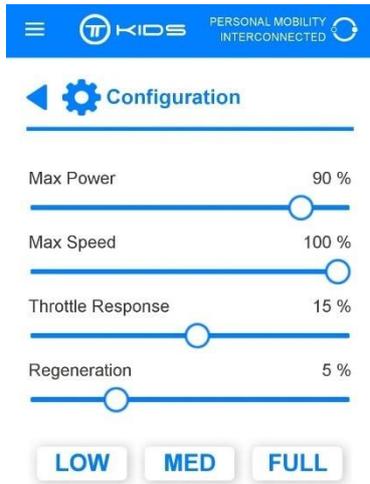


## 12.2. 設定

メニュー画面から設定操作を行うことができ(‘Configuration’ メニュー) (5)、車両のパフォーマンスを変えることが可能です。この操作の際は、オートバイのスイッチはオン(電源を入れた)状態でモーターは停止(動いていない)状態で行ってください。

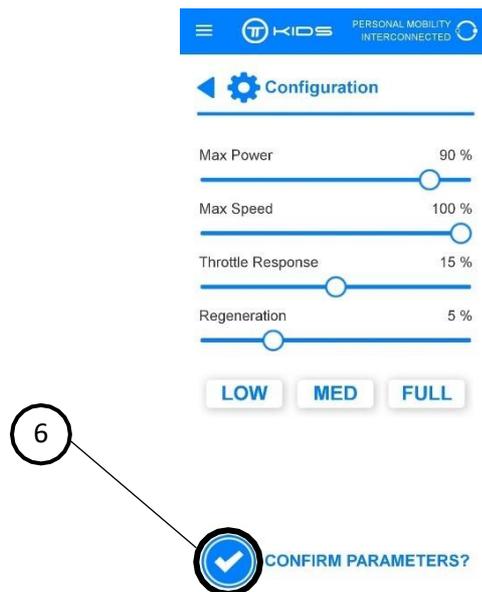


操作の開始を選択すると、スライド・バーによって車両のそれぞれの動向を調節するパラメーター画面が表示されます(下図) :



- Max Power: 最小20%から最大100%まで、パワーの最大値を変更することができます。
- Max Speed: 最低30%から最高100%まで、スピードの最大値を変更することができます。
- Throttle Response: 最速5%から最遅25%までの、スロットル・レスポンス値を変更することができます。
- Regeneration: スロットルをリリースした時(離れた時)の、回生ブレーキ力(エンジン動力車のエンジン・ブレーキ同様、モーター動力車においてそれに相当する力)の強さを、0%(弱い)~20%(強い)の範囲で変更することができます。

“Confirm Parameters” (6) を押すと、設定は読み込まれて調整が完了します。

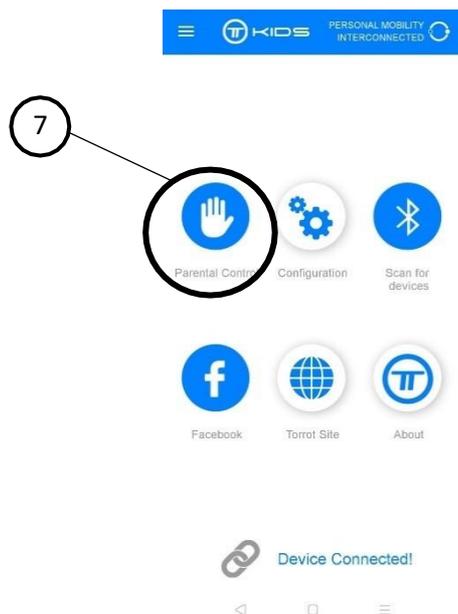


設定が読み込まれて完了すると、再度、設定のダイアログ・ウィンドウが開きますので、設定に誤りがないか確認しましょう。意図した設定内容と異なっている場合は、もう一度上記の操作を繰り返して設定を行ってください。

## 12.3. ペアレンタル・コントロール

ペアレンタル・コントロールには2つの機能があります。一つは、リモート・コントロールでオートバイを停止(動力供給を停止)させる機能です。もう一つは、車両がBluetooth通信可能域を超えてスマートフォンから離れてしまうと、同様に停止させる機能です。

メニュー画面の“Parental Control” (7) をタップして設定します。



Enable parental control ボタン(8)をタップして「可能」な状態にします。



ペアレンタル・コントロールを可能の状態にするとアイコンが表示され、保護者の方が離れた場所から車両の可動を停止させることができますようになります。アイコンがブルー (9) の時はモーターが稼働可能であることを示し、アイコンがグレーの時はモーター稼働不可能であることを示します (10)。

また、ペアレンタル・コントロールが設定されている時に、車両がスマートフォンから遠く離れて接続の届かない場所まで行ってしまった場合は、ライダーの安全のために自動的に車両は停止(動力供給が遮断)されます。車両とスマートフォンの距離が、再びBluetooth通信可能域に入ると、自動的にオートバイの動力は回復され走行可能になります。

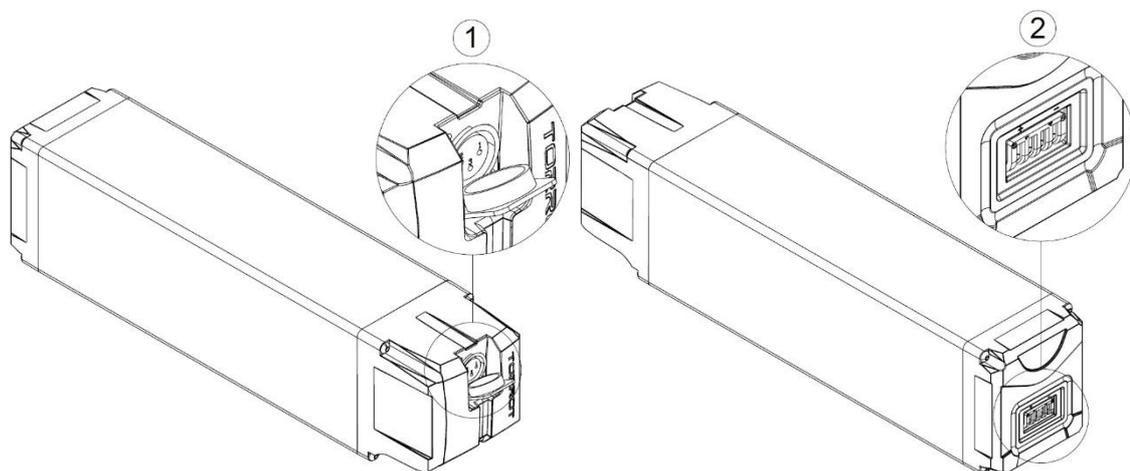


スマートフォンの機種によってはアプリケーションと互換性のないものもございますので、その際は互換性のある別のスマートフォンでペアリングを行うようお願いいたします。

## 13. トラブル・シューティング

以下はトラブル・シューティングのリストです。このリストはトラブルの全てを網羅しているわけではありません。よく起こる一般的なトラブルについて、解決するための基本的な確認事項について述べています。

1. バッテリーが満充電されているか必ず確認します。
2. バッテリーの充電ポート(1)、または出力ポート(2)に損傷がないか確認します。



3. バッテリーが、車両に正しく接続されているか確認します。
4. キースイッチが、オンになっているか確認します。
5. シャットダウン・デバイスが、正しく接続されているか確認します。
6. スロットル部分にあるスタートボタンが、オンになっているか確認します。

以上を確認して異常がなく、それでもトラブルが解決しない場合は、迷わずお近くのモータリスト e-ディーラーにお尋ねください。



## 14. おわりに

お客様のオートバイを大切により長くお楽しみいただくためにも、日常の点検項目は省略せずに必ず行い、定期点検も適切にお受けいただくようお願いいたします。お近くのモータリスト e-ディーラーはもちろんのこと、全国のモータリスト e-ディーラーがお客様のトロット・キッズをサポートいたしますので、お気軽にお問い合わせください。

また、車両にいかなるトラブルや問題点が発生した場合でも、お近くあるいは全国のモータリスト e-ディーラーが真摯にサポートさせていただきますので、ご遠慮なくお声がけいただけると幸いです。



不具合等はその内容の大小に関わらず、放っておくと大きな事故につながる恐れがあり、お客様の大切な命に関わることもございますので、放置せずに必ず対処してください。

### 14.1. よくあるご質問

#### 14.1.1. このオートバイには、ビギナーのために速度を制限できる機能はありますか？

はい、このオートバイには車両の最高速度を制限できるパワー・リミッターが装備されています。このマニュアルの「パワー・リミッター・デバイス」の章で、デバイスの場所と制限のかけ方、また解除の仕方についても説明しています。

ライダーがオートバイに慣れ、乗りこなせるようになるまで、その技量に合わせてスピード・コントロールをすることは非常に大切です。

#### 14.1.2. トロット・キッズの使用には、最少年齢制限はありますか？

トロット・キッズの使用については、6～11歳のお子様を適正使用年齢とさせていただいておりますが、お子様の体格によってご乗車いただける場合もございます。その場合でも、必ず保護責任者の方の付き添いのもとご乗車いただきますようお願いいたします。

どのような場合におきましても、親ご様や保護責任者の方の監視のもと、車両の点検・整備を適切に行い、且つライダーの技量に合わせた練習やトレーニングをしながら安全にお乗りいただきますようお願いいたします。安全にお乗りいただくには、ライダーの年齢や体格だけでなく、その技量や精神的な成熟度も大きく関係してくることを忘れてはいけません。

#### 14.1.3. 公道を走ることはできますか？

いいえ、このオートバイは公道走行用ではありません。囲まれた(走行用の決められた)エリアでのみ走行可能です。

#### 14.1.4. 第三者賠償責任保険のようなものを、必ずかける必要がありますか？

いいえ、保険は必須ではありません。

#### 14.1.5. 車両は、防水ですか？

モーターやコントローラー、電装機器類は保護されていますので、軽い小雨ほどであれば使用に問題はございません。正し、水に浸漬させたり高圧洗浄水をあてることはしないでください。

---

#### 14.1.6. バッテリーを、充電器に接続したまま放置しても大丈夫ですか？

---

大丈夫です。充電器には電圧検出システムが備わっていますので、満充電になると給電が止まる仕組みになっています。ですが、充電が終了したら放置せずに、できるだけ早めに取り外すようにしましょう。

バッテリーを保管する場合は、「バッテリーの保管」の章をご覧ください。

#### 14.1.7. 気温が低くなるとバッテリー持続性能が下がるのは、どうしてですか？

---

気温が0℃以下になると、バッテリーのパフォーマンスが悪くなります。これは、このタイプのバッテリー液の化学組成によるものです。パフォーマンスは低下しますが、一時的にバッテリーの容量が下がるだけで、バッテリーそのものへのダメージや車両への影響はございません。

しかしながら、氷点下15℃以下になると、明らかにバッテリーの劣化につながりますのでご注意ください。

#### 14.1.8. トロット・キッズのブレーキは、回生ブレーキ・システムですか？

---

はい、回生ブレーキ・システムを採用しています。スロットルをリリース(離す)した時にエンジン・ブレーキと同様の効果が現れます。このシステムの設定は、スマートフォンのアプリで変更が可能です。



**TORROT**

**+34 972 406 115**

**info@torrot.com**

**C/ Unicef, 17 Pol. In. Torremirona. 17190 Salt (Girona) Spain**

**www.torrot.com**